MS344－28013/4
GRサイドスカート
［ユニバーサルステップ付車］　取付・取扱要領書

この度はGRサイドスカートをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、 取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、 正しい取り付け、 取り扱いを実施してください。
なお、 本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取り付けは出来ません、 取り付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品　番	塗装色	適合車種	型 式	年 式	備 考
MS344-28013-A0	ﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙｸﾘｽﾀﾙｼｬｲﾝ(070)	ヴォクシー	MZRA90/5W ZWR90/5W	'22.1～	
MS344-28013-A1	ﾌﾟﾗﾁﾅﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙﾏｲｶ(089)				
MS344-28013-C0	ｱﾃｨﾁｭｰﾄﾞﾌﾞﾗｯｸﾏｲｶ(218)				
MS344-28014-NP	未塗装品				

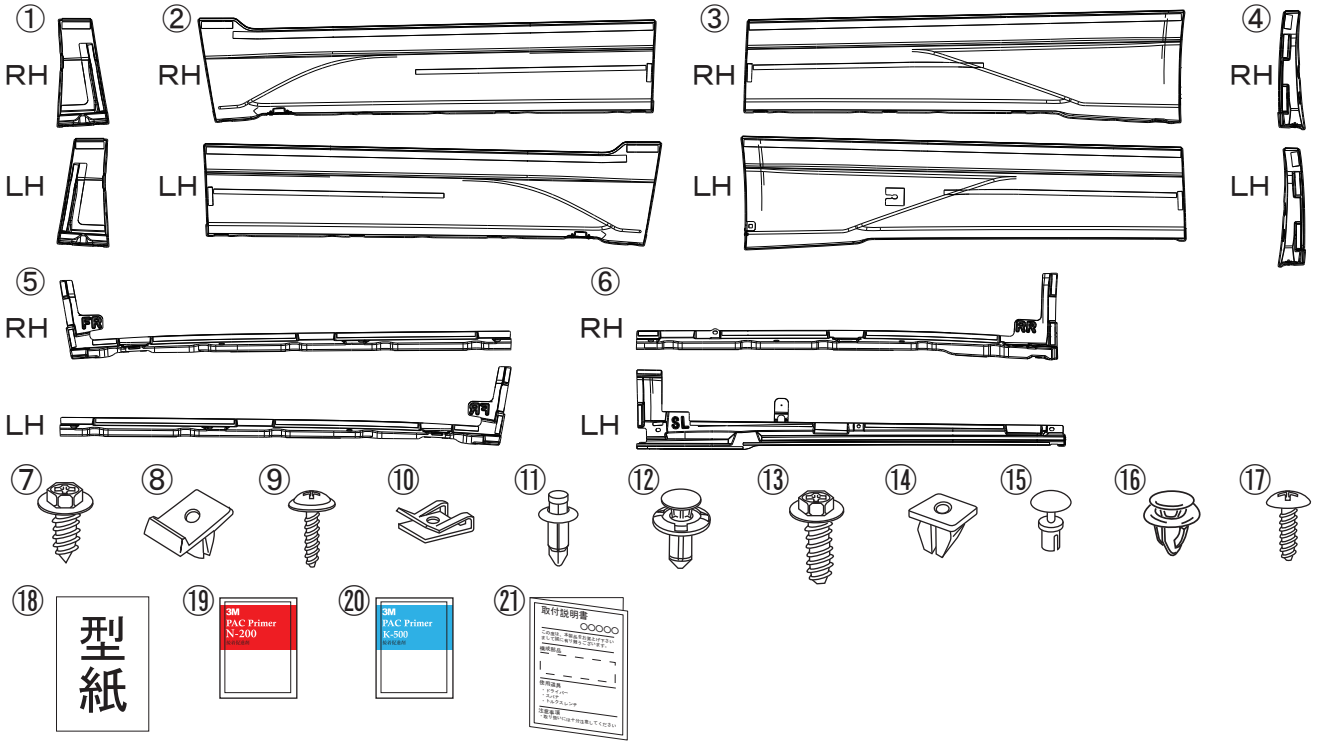
・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 https://www.trdparts.jp/

■ 構成部品

No.	品　名	個数	備考
①	FRフェンダーピース（RH/LH）	各1	
②	FRドアアウターピース（RH/LH）	各1	
③	RRドアアウターピース（RH/LH）	各1	
④	RRフェンダーピース（RH/LH）	各1	
⑤	FRドアインナーピース（RH/LH）	各1	
⑥	RRドアインナーピース（RH/LH）	各1	
⑦	タッピングスクリューA	5	6×16
⑧	グロメットA	5	
⑨	タッピングスクリューB	3	5×16
⑩	Jナット	3	
⑪	クリップA	3	
⑫	クリップB	13	
⑬	タッピングスクリューC	6	6×20
⑭	グロメットB	1	
⑮	クリップC	1	
⑯	クリップD	1	
⑰	タッピングスクリューD	1	5×12
⑱	型紙	1	
⑲	PACプライマー（赤袋）	1	N-200相当
⑳	PACプライマー（青袋）	1	K-500
㉑	取付・取扱要領書	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図 ※①②③④⑤⑥は裏面視

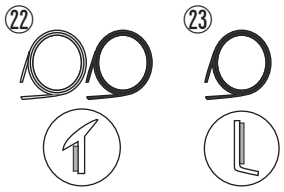


以下、 MS344-28014-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	品　名	個数	備考
㉒	モール（イ型）	各2	黒 : L=2200 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ: L=2500
㉓	モール（L型）	1	黒 :L=800

※確認・本商品が到着後、 すぐに本体に破損がないこと、 付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



モール（イ型）㉒推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
ﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙｸﾘｽﾀﾙｼｬｲﾝ(070)	ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ
ﾌﾟﾗﾁﾅﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙﾏｲｶ(089)	ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ
ﾒﾀﾙｽﾄｰﾑﾒﾀﾘｯｸ(1K0)	ﾌﾞﾗｯｸ
ﾏｯｼﾌﾞｸﾞﾚｰ(1L6)	ﾌﾞﾗｯｸ
ｱﾃｨﾁｭｰﾄﾞﾌﾞﾗｯｸﾏｲｶ(218)	ﾌﾞﾗｯｸ
ｽﾊﾟｰｸﾘﾝｸﾞﾌﾞﾗｯｸﾊﾟｰﾙ ｸﾘｽﾀﾙｼｬｲﾝ(220)	ﾌﾞﾗｯｸ
ｸﾞﾘｯﾀｰﾌﾞﾗｯｸｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ（226）	ﾌﾞﾗｯｸ
ﾚｯﾄﾞﾏｲｶ ﾒﾀﾘｯｸ(3R3)	ﾌﾞﾗｯｸ
ｽﾃｨｰﾙﾌﾞﾛﾝﾄﾞﾒﾀﾘｯｸ（4X1）	ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ

取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　**❗ 必ず行なっていただくこと**

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。

❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。

❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取り付けが終わったら

❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

１．表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・１～３
２．取付上のご注意（取付作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
３．目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・５
４．取付準備、取付要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６～２３
５．取付完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
６．未塗装品の取り扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４～２６
７．補修キット両面テープ貼り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

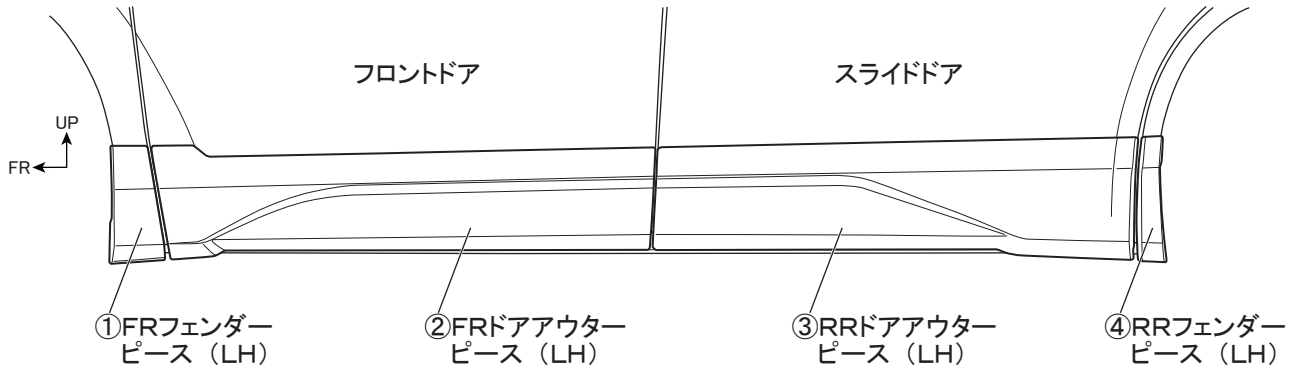
・一般工具
・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・保護メガネ
・電動ドリル（刃：２．０mm/３．０mm/６．０mm/８．０mm/９．０mm/１０．０mm）
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
・イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、１年・20,000Kmの保証を実施致します。
（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細は TRD パーツカタログサイト＜https://www.trdparts.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

※LH図示



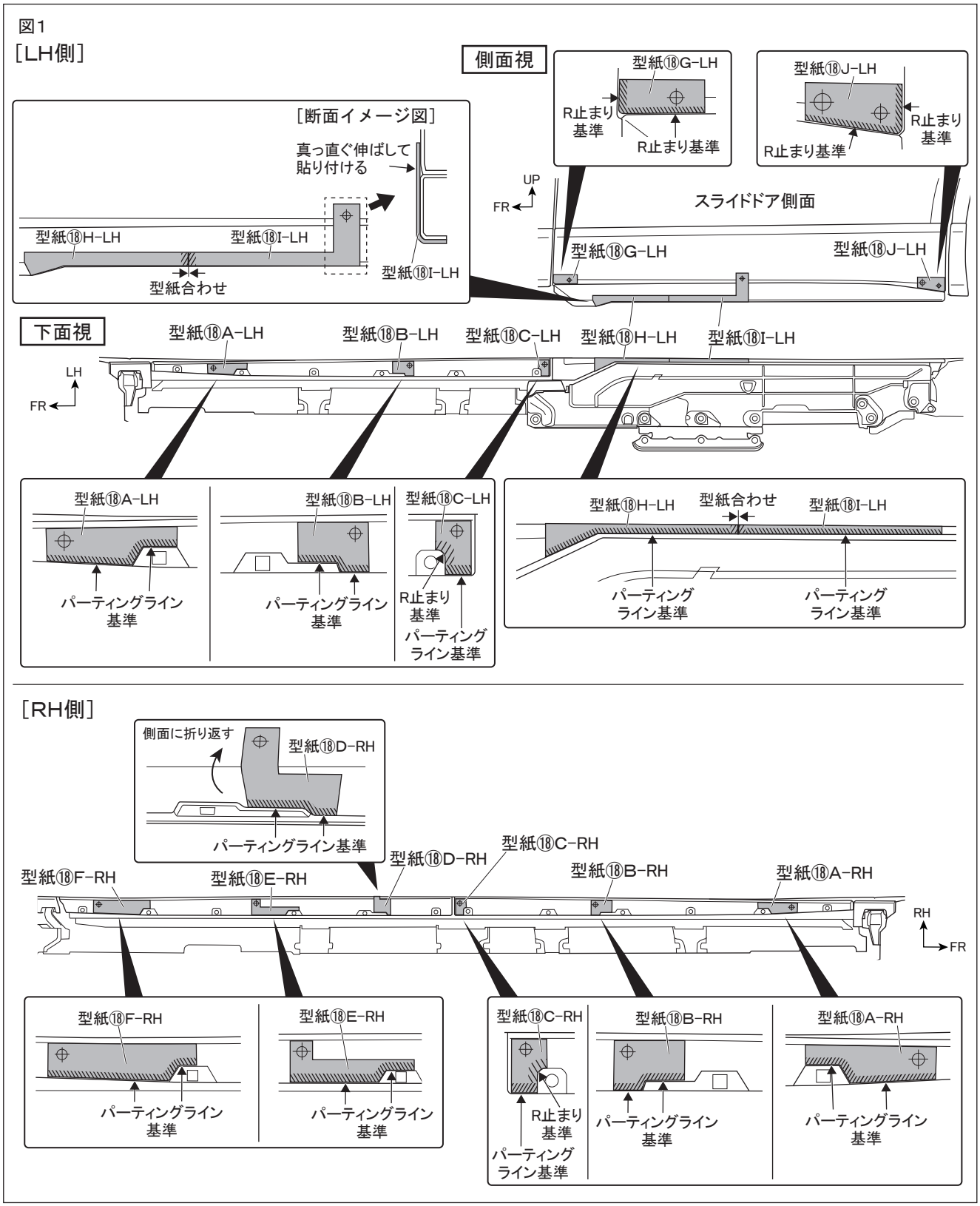
■ 取付準備、 取付要領

※本取付・取扱要領書は、 主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□サイドスカート取付準備

1. 図1のように型紙⑱を車両サイドシルガーニッシュ下面および側面に貼り付ける。
   - ・LH側 : 型紙⑱A、B、C、G、H、I、J（7箇所）
   - ・RH側 : 型紙⑱A、B、C、D、E、F（6箇所）

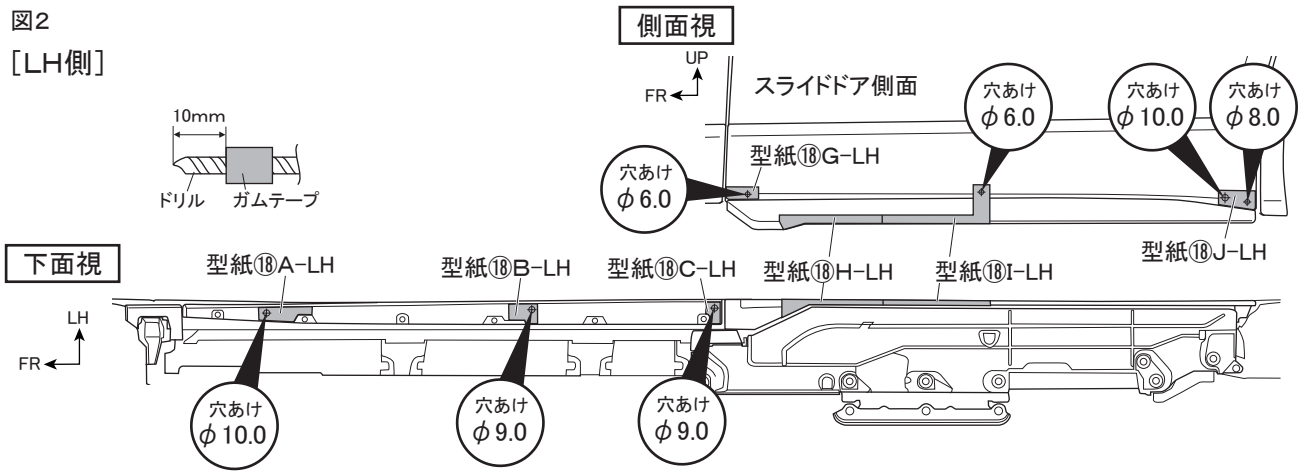
図1



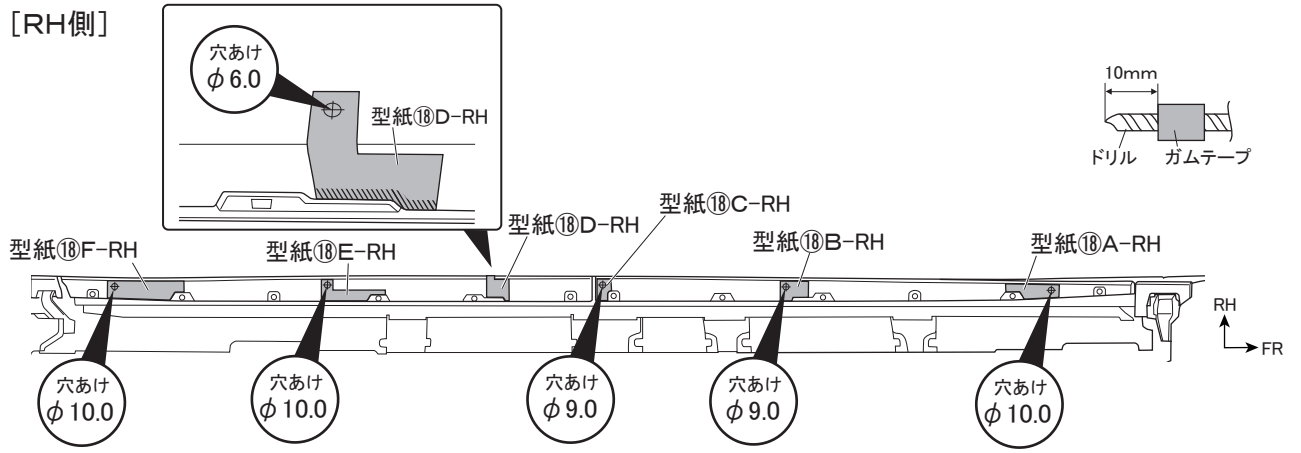
2. 図2のように車両サイドシルガーニッシュ下面および側面の型紙⑱の穴あけ位置に合わせて穴をあける。
   - フロント下面　型紙⑱A：下穴φ3.0→φ6.0、本穴φ10.0（左右各1箇所）
   - フロント下面　型紙⑱B、C：下穴φ3.0→φ6.0、本穴φ9.0（左右各2箇所）
   - LHリヤ側面　型紙⑱G、I：下穴φ3.0→本穴φ6.0（2箇所）
     型紙⑱J：［前側］下穴φ3.0→φ6.0、本穴φ10.0（1箇所）
     ［後側］下穴φ3.0→φ6.0、本穴φ8.0（1箇所）
   - RHリヤ側面　型紙⑱D：下穴φ3.0、本穴φ6.0（1箇所）
   - RHリヤ下面　型紙⑱E、F：下穴φ3.0→φ6.0、本穴φ10.0（2箇所）

図2

［LH側］



［RH側］



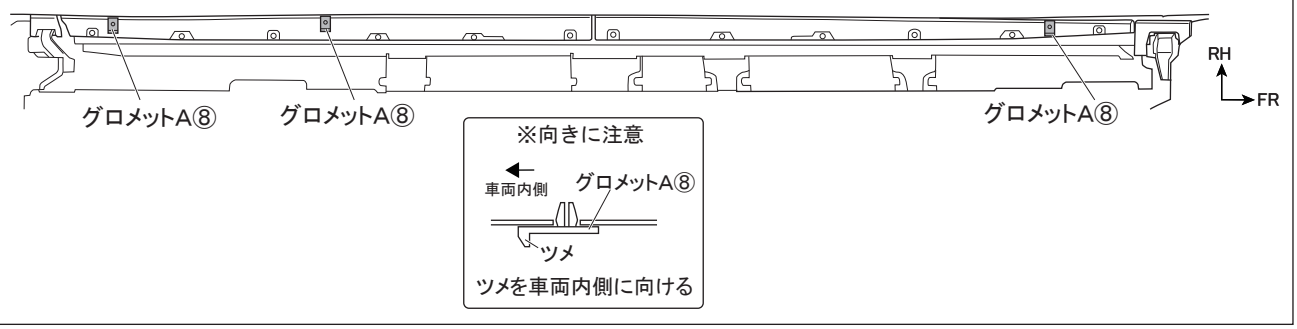
⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

3. 型紙⑱A～Jを剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。（LH側7箇所、RH側6箇所）

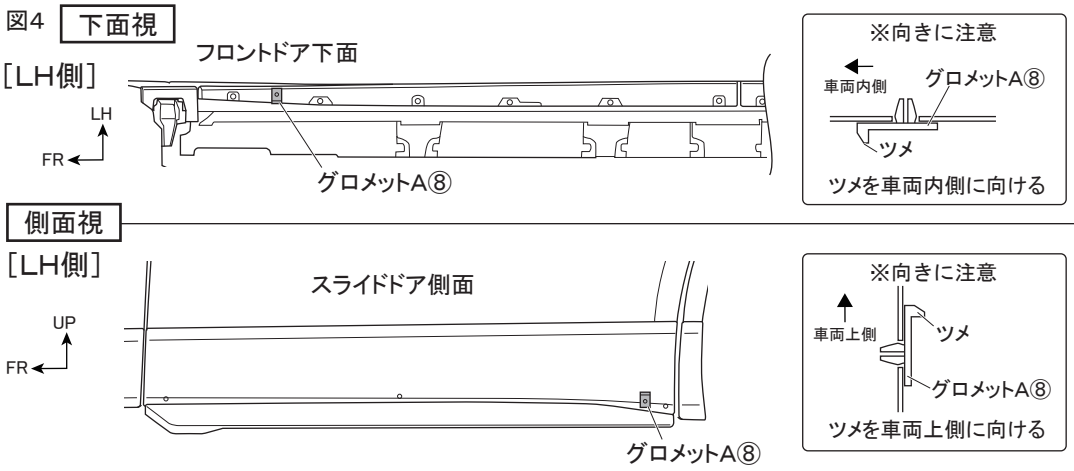
4. 図3のように車両RH側サイドシルガーニッシュ下面のφ10.0 加工穴に合わせてグロメットA⑧を取り付ける。（3箇所）

図3　下面視　［RH側］



5. 図4のように車両LH側サイドシルガーニッシュフロントドア下面およびサイドシルガーニッシュスライドドア側面のφ10.0 加工穴に合わせてグロメットA⑧を取り付ける。（2箇所）

図4



6. 図5のように車両側面にサイドスカート取り付け位置高さおよび前後方向を図示寸法で計測し、マスキングテープ等でマーキングする。

図5　※LH図示　左右共通作業

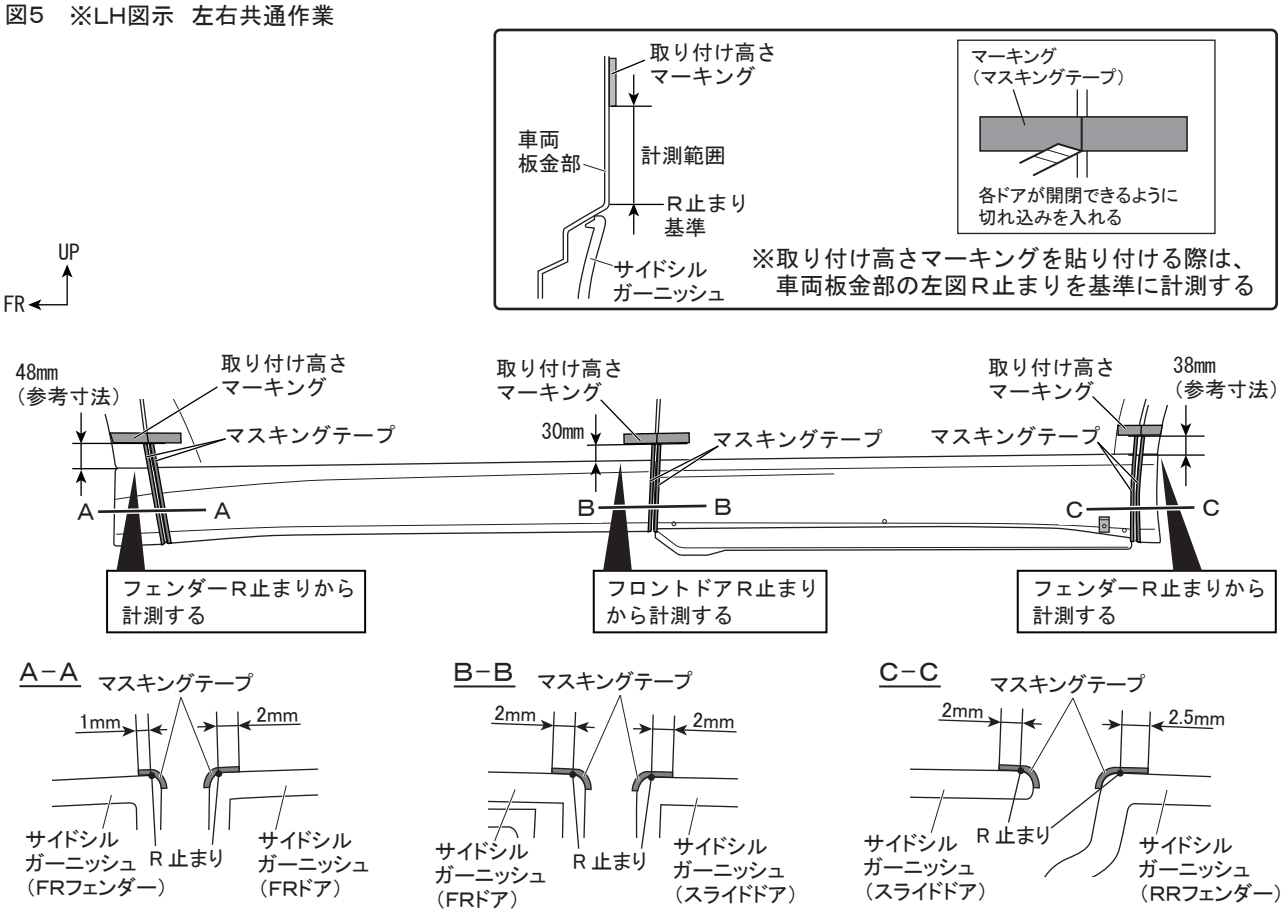
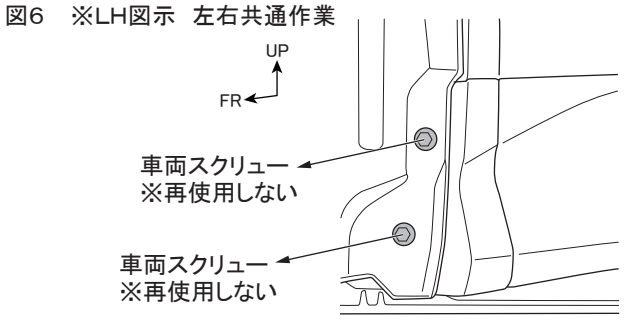


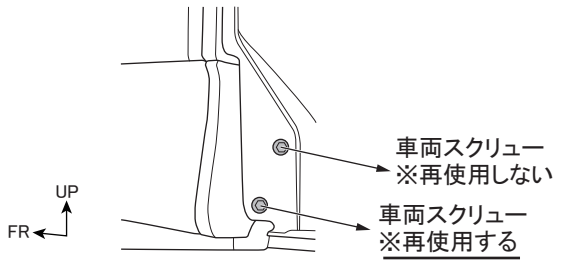
図6　※LH図示　左右共通作業



7. 図6のように車両フロント側ホイールハウス部の車両スクリューを取り外す。
（左右各2箇所）

⚠注意：取り外した車両スクリューは再使用しません。

図7　※LH図示　左右共通作業



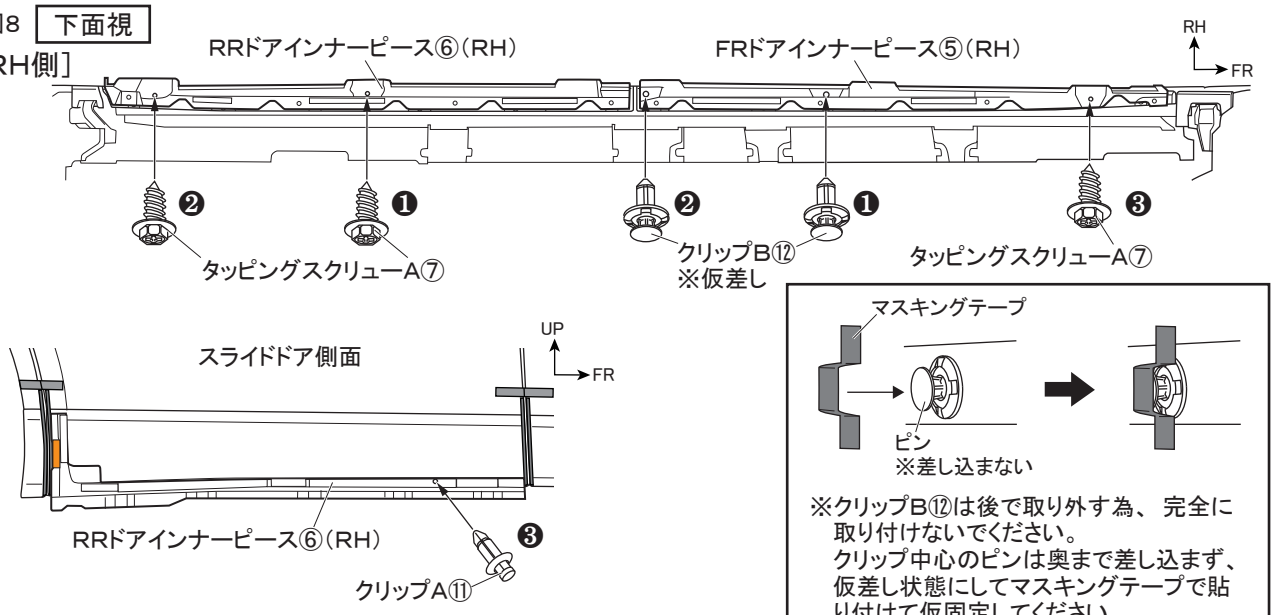
8. 図7のように車両リヤ側ホイールハウス部の車両スクリューを取り外す。
（左右各2箇所　※下側のみ再使用する）

⚠注意：取り外した車両スクリューは一部再使用しますので、 無くさないように必ず保管してください。

9. 図8のように車両RH側サイドシルガーニッシュ下面にFRドアインナーピース⑤（RH）、RRドアインナーピース⑥（RH）をあて、 下図順番で下面をタッピングスクリューA⑦（3箇所） で仮締めし、 クリップB⑫（2箇所、※仮差し）、リヤ側面をクリップA⑪（1箇所） で固定する。

図8　下面視

［RH側］

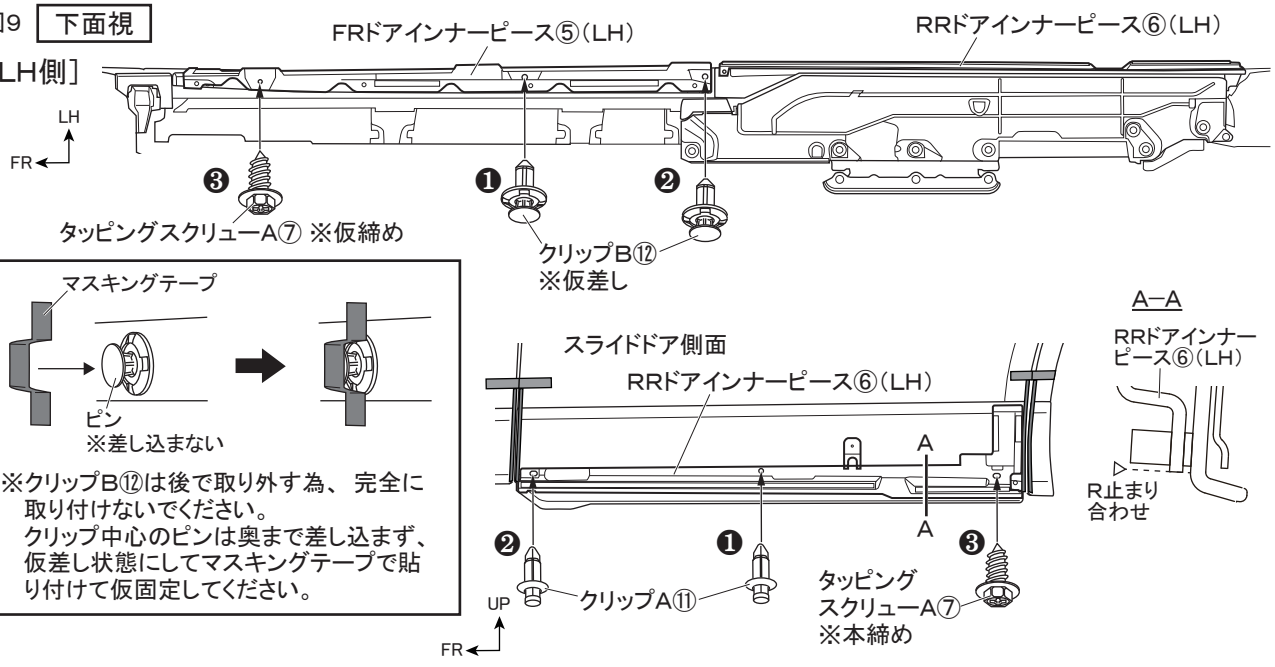


※クリップB⑫は後で取り外す為、 完全に取り付けないでください。
クリップ中心のピンは奥まで差し込まず、仮差し状態にしてマスキングテープで貼り付けて仮固定してください。

10. 図9のように車両LH側サイドシルガーニッシュ下面にFRドアインナーピース⑤（LH）、RRドアインナーピース⑥（LH）をあて、 下図順番で下面をタッピングスクリューA⑦（1箇所） で仮締めし、 クリップB⑫（2箇所、※仮差し）、リヤ側面をクリップA⑪（2箇所） 固定し、 タッピングスクリューA⑦（1箇所） で本締めする。

図9　下面視

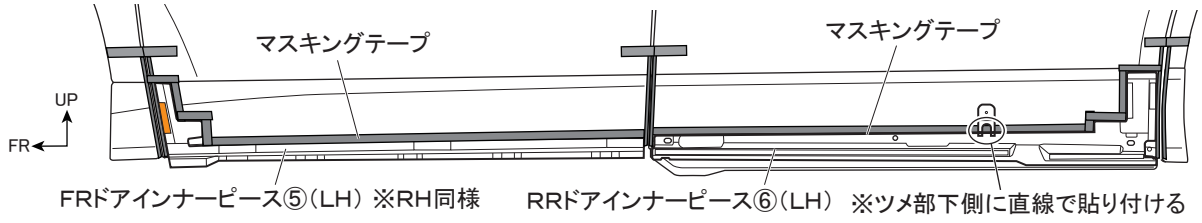
［LH側］



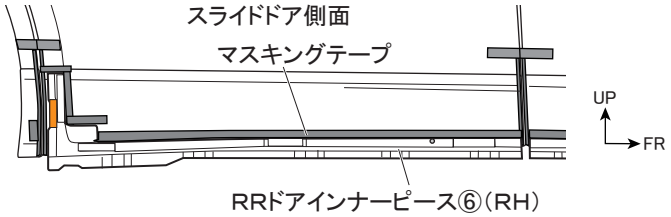
※クリップB⑫は後で取り外す為、 完全に取り付けないでください。
クリップ中心のピンは奥まで差し込まず、仮差し状態にしてマスキングテープで貼り付けて仮固定してください。

11. 図 10 のようにFRドアインナーピース⑤、RRドアインナーピース⑥端末に合わせて車両側面にマスキングテープを貼り付ける。

図 10 ※LH図示 FRドア部左右共通作業

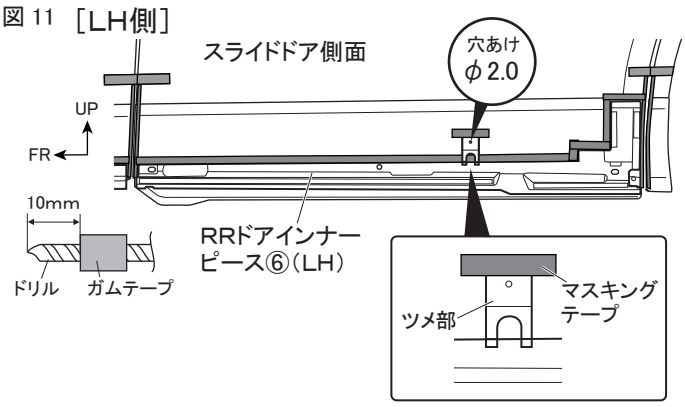


［RH側］



⚠注意 : PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

図 11 ［LH側］



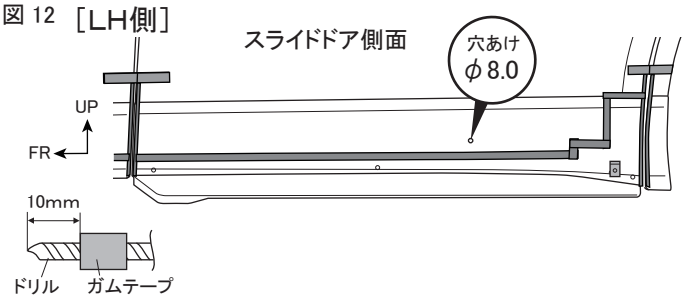
12. 図 11 のようにRRドアインナーピース⑥(LH)のツメ部穴に合わせて車両側面にφ2.0 の穴をあける。(LH側1箇所)
穴あけ作業時にツメ部が浮かないよう、マスキングテープで固定する。

⚠注意 : 作業時は保護メガネを着用してください。

アドバイス : 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

13. FRドアインナーピース⑤、RRドアインナーピース⑥を全て取り外す。

図 12 ［LH側］



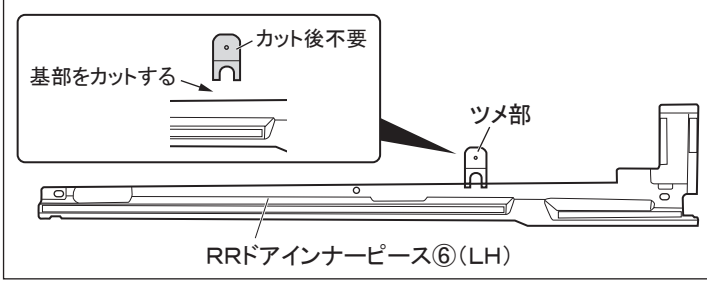
14. 図 12 のようにLH側リヤドア側面のφ2.0 穴をφ8.0 に拡大する。(LH側1箇所)

⚠注意 : 作業時は保護メガネを着用してください。

アドバイス : 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

15. 加工穴周囲のバリを除去する。(LH側1箇所)

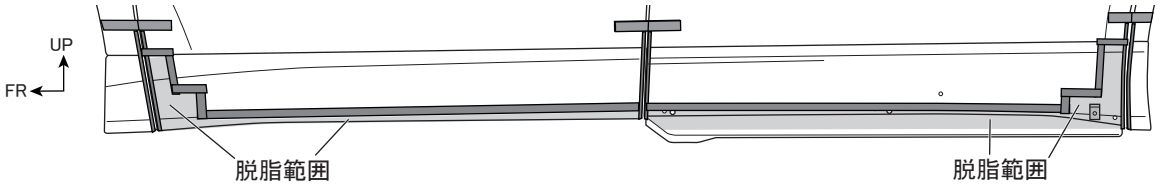
図 13



16. 図 13 のようにRRドアインナーピース⑥(LH)のツメ部を切除し、切除面のバリを除去する。(LH側1箇所)

17. 図 14 のようにFRドアインナーピース⑤、RRドアインナーピース⑥の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図 14 ※LH図示 左右共通作業

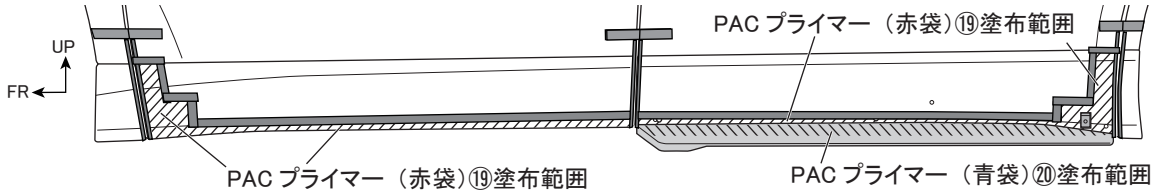


⚠注意：脱脂を行う際、 上記以外の溶剤は使用しないでください。 油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂後は、 十分に乾燥させてください。

18. 図 15 のようにFRドアインナーピース⑤、RRドアインナーピース⑥の両面テープ貼り付け部（下図斜線部）にPACプライマー（赤袋）⑲、PACプライマー（青袋）⑳を塗布する。

図 15 ※LH図示 左右共通作業



⚠注意：PAC プライマーは、 必ず塗布部位により使い分けてください。

・塗装部分 ：N－200（赤袋）
・素地部分 ：K－500（青袋）

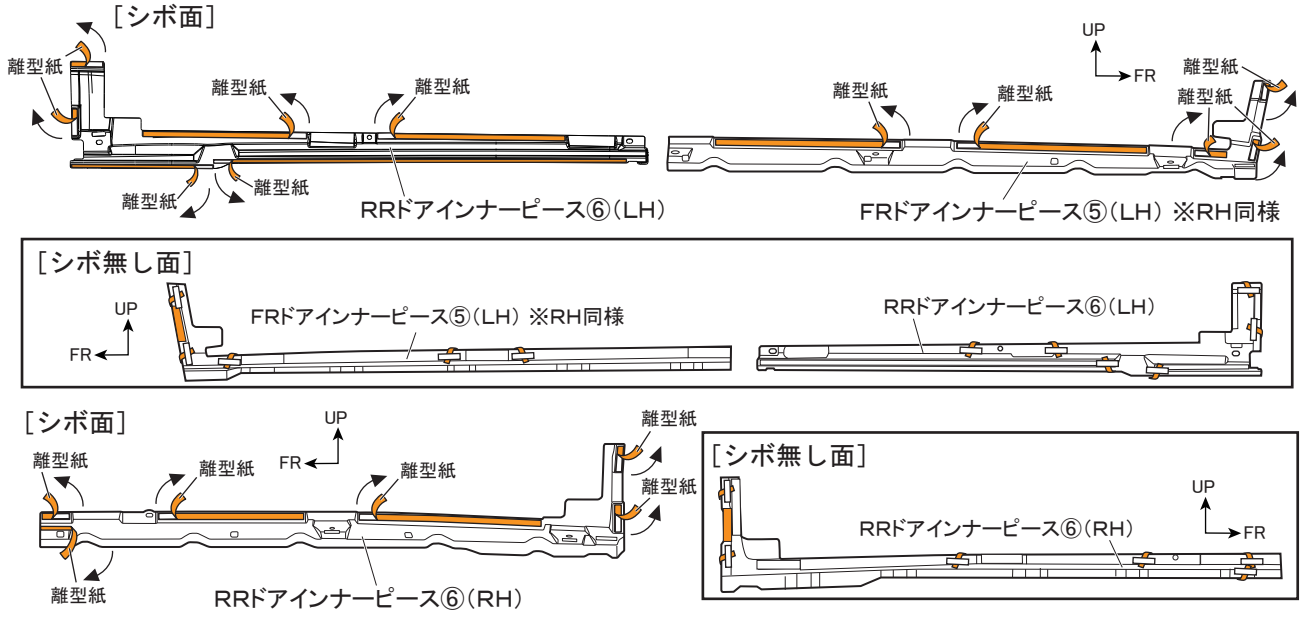
⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、 直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。 付着してしまいますと、 変色する事がありますので注意してください。

⚠注意：PAC プライマー（赤袋）、（青袋）は後の作業に再使用します。
揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

19. 10 ページ 11. で貼り付けたマスキングテープのみ剥がす。
※取り付け高さマーキングおよび各サイドシルガーニッシュ間に貼り付けたマスキングテープは剥がさないでください。

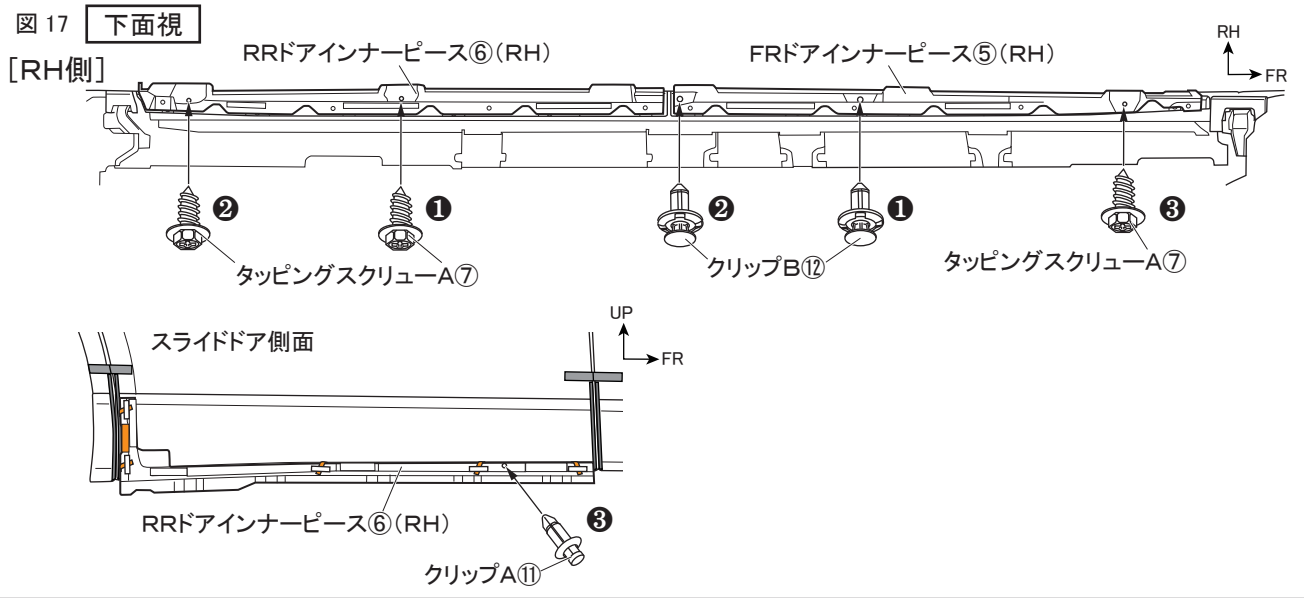
20. 図 16 のようにFRドアインナーピース⑤表側（シボ面）、RRドアインナーピース⑥表側（シボ面）の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で裏側（シボ無し面）に貼り付ける。
（FRドアインナーピース⑤: 左右各5箇所）（RRドアインナーピース⑥（LH）：6箇所）
（RRドアインナーピース⑥（RH）：6箇所）

図 16



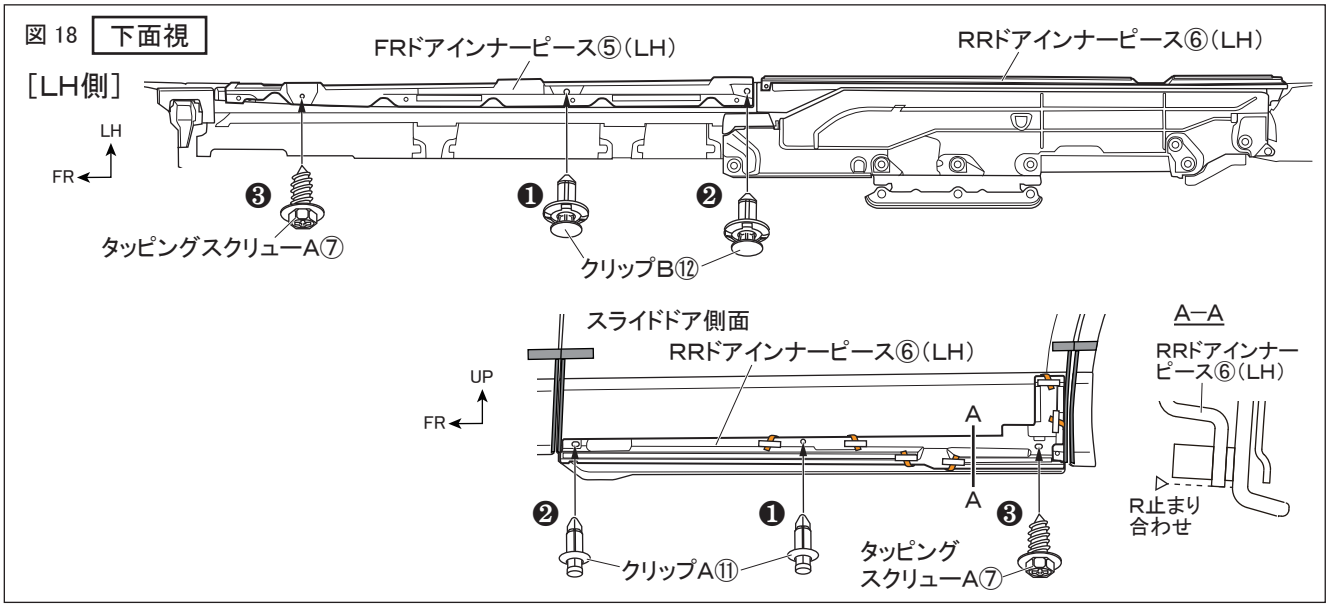
21. 図 17 のように車両RH側サイドシルガーニッシュ下面にFRドアインナーピース⑤（RH）、RRドアインナーピース⑥（RH）をあて、下図順番で下面をタッピングスクリューA⑦（3箇所）で本締めし、クリップB⑫（2箇所）、リヤ側面をクリップA⑪（1箇所）で固定する。

図 17　下面視



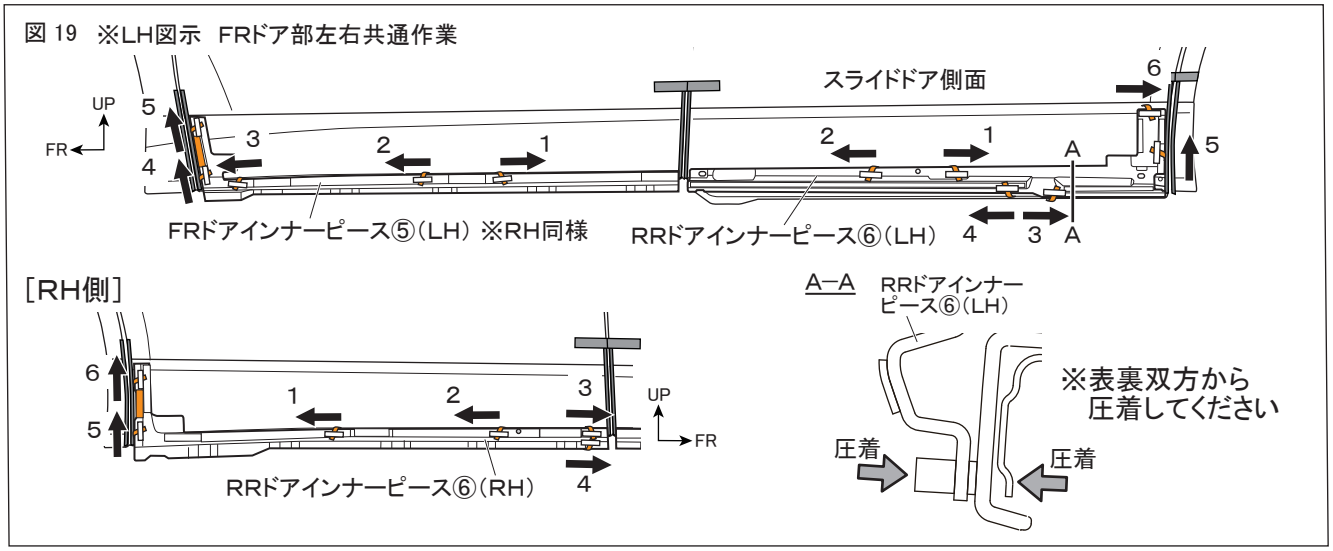
22. 図 18 のように車両LH側サイドシルガーニッシュ下面にFRドアインナーピース⑤（LH）、RRドアインナーピース⑥（LH）をあて、 下図順番で下面をタッピングスクリューA⑦（1箇所） で本締めし、 クリップB⑫（2箇所）、 リヤ側面をクリップA⑪（2箇所）、 タッピングスクリューA⑦（1箇所） で本締めして固定する。

図 18　下面視



23. 図 19 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（LH側：11箇所、RH側：11箇所）

図 19　※LH図示　FRドア部左右共通作業



⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生するおそれがあります。

24. 図 20 のようにFRドアインナーピース⑤下面前側のタッピングスクリューA⑦（左右各1箇所）を取り外す。
25. 図 20 のようにFRドアインナーピース⑤（RH/LH）、RRドアインナーピース⑥（RH）にJナット⑩を取り付ける。（3箇所）

図 20

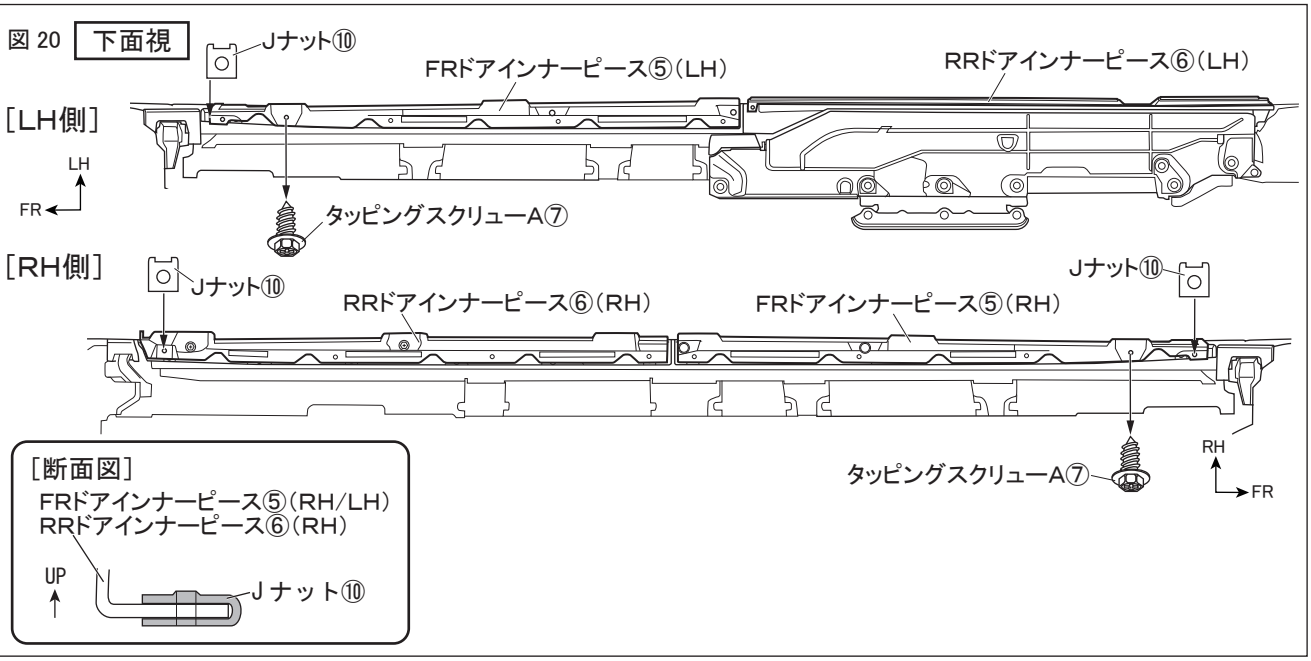
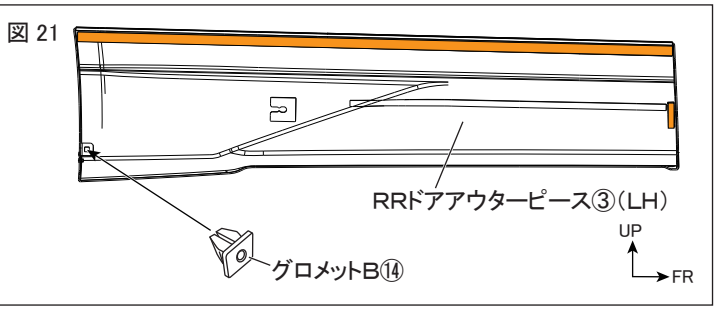


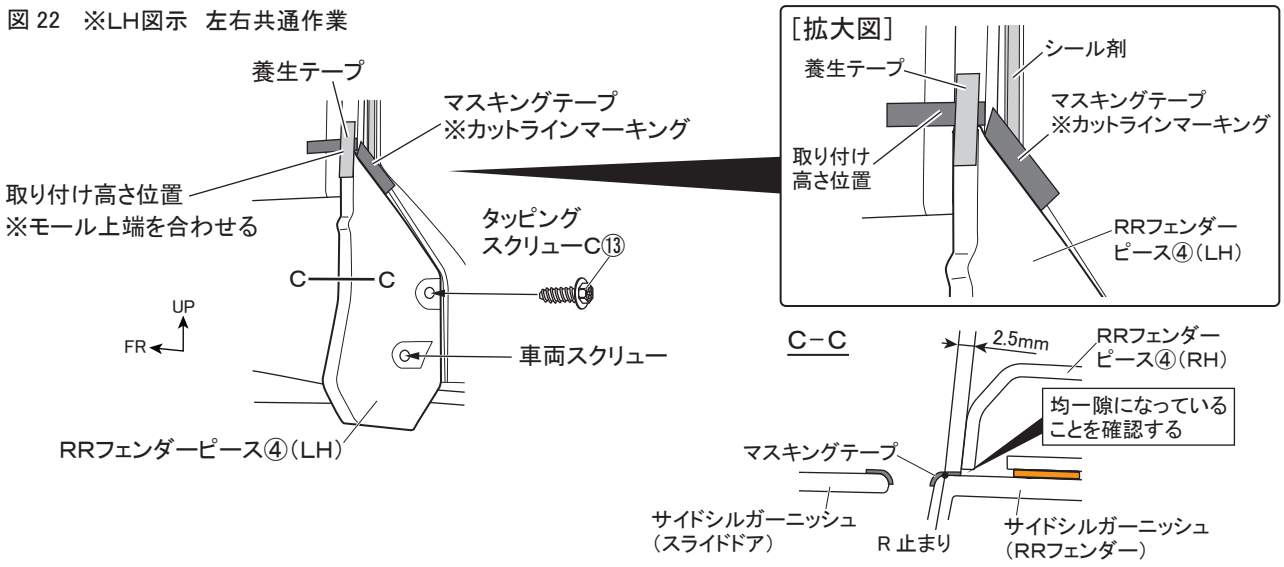
図 21



26. 図 21 のようにRRドアアウターピース③（LH）裏面にグロメットB⑭を取り付ける。（1箇所）

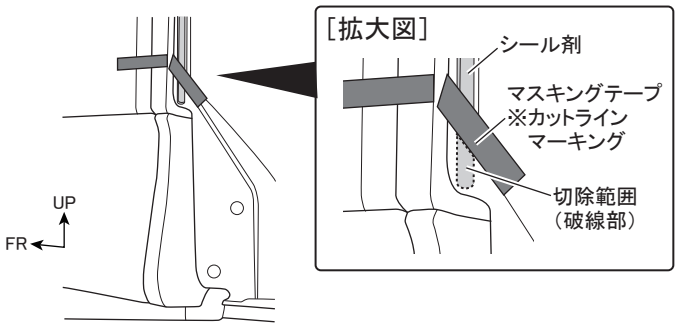
27. 図 22 のようにRRフェンダーピース④のモール上端を取り付け高さマーキング、側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせ、下面を車両サイドシルガーニッシュに突き当てながら位置決めし、ホイールハウス部上側をタッピングスクリューC⑬（左右各1箇所）、下側を車両スクリュー（左右各1箇所）で仮締めし、養生テープで仮固定する。
28. 図 22 のように車両リヤホイールハウス折り返し部のシール剤を一部切除加工するため、RRフェンダーピース④の端末部を基準に上方のシール剤にカットラインをマスキングテープでマーキングする。

図 22　※LH図示　左右共通作業



29. RRフェンダーピース④を取り外す。

図 23　※LH図示　左右共通作業



30. 図 23 のようにカットラインマーキングを基準に塗装面に傷をつけないようシール剤を 1mm 程度残し切除加工する。（左右各1箇所）

⚠注意：シーリング剤を切除する前に、切除する範囲のパネル面に保護の為、布テープ等を貼り付けてください。

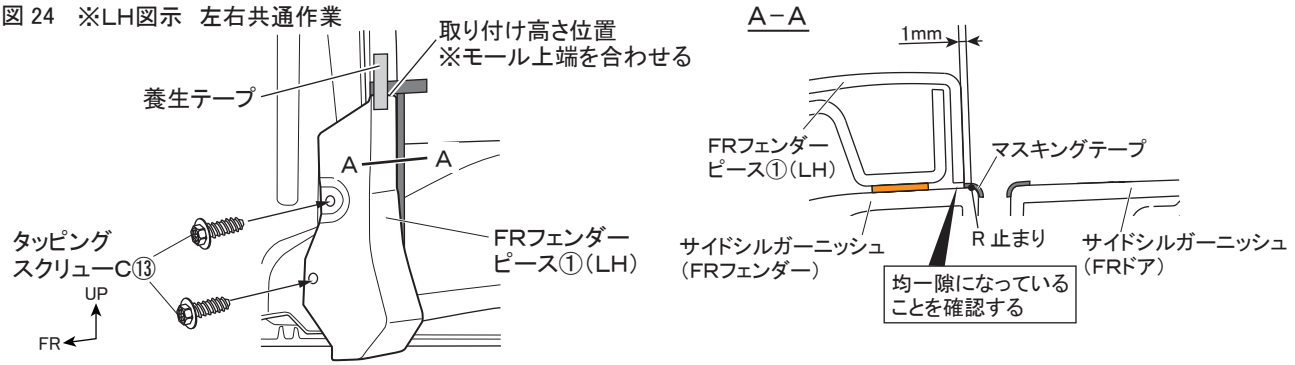
⚠注意：除去する際は、怪我と塗装面への傷付きに注意してください。
万一、塗装面を傷つけてしまった場合は確実にタッチアップペイントを塗布し、乾燥してから次の作業に進んでください。

⚠注意：作業時に脱脂した箇所に油脂分を付着させた際は、再度脱脂を行ってください。

31. カットラインマーキングを剥がす。（左右各1箇所）

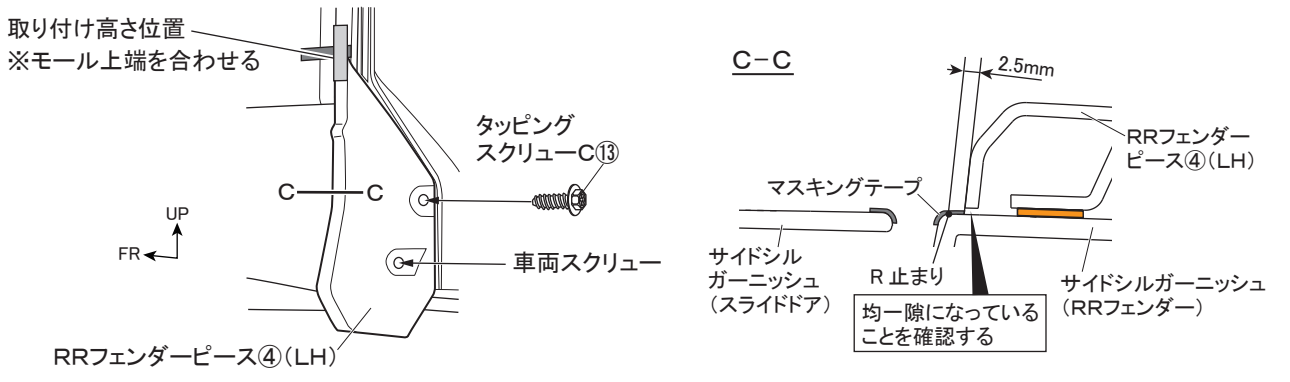
32. 図 24 のようにFRフェンダーピース①のモール上端を取り付け高さマーキング、側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせ、下面を車両サイドシルガーニッシュに突き当てながら位置決めし、ホイールハウス部をタッピングスクリューC⑬で仮締めし（左右各2箇所）、養生テープで仮固定する。

図 24　※LH図示　左右共通作業



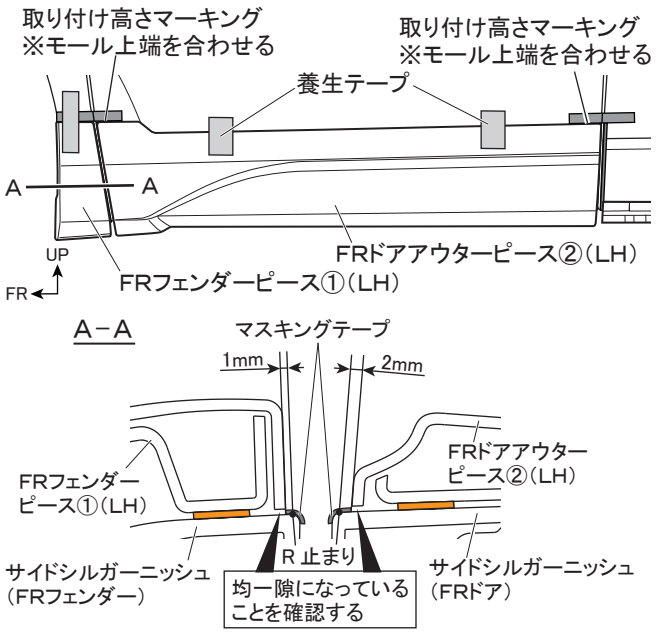
33. 図 25 のようにRRフェンダーピース④のモール上端を取り付け高さマーキング、側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせ、下面を車両サイドシルガーニッシュに突き当てながら位置決めし、ホイールハウス部上側をタッピングスクリューC⑬（左右各1箇所）、下側を車両スクリュー（左右各1箇所）で仮締めし、養生テープで仮固定する。

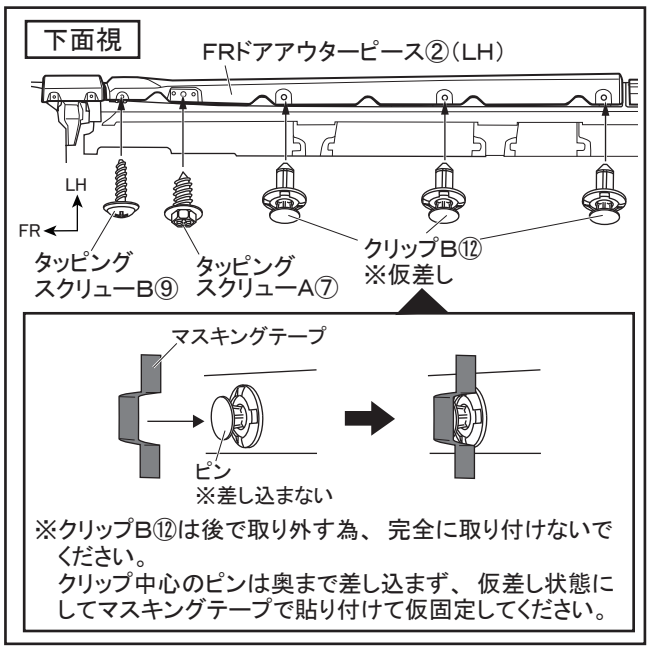
図 25　※LH図示　左右共通作業



34. 図 26 のようにFRドアアウターピース②のモール上端を取り付け高さマーキング、 側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせて車両にあて、 下面をクリップB⑫（左右各3箇所、※仮差し）、 タッピングスクリューA⑦（左右各1箇所）、 タッピングスクリューB⑨（左右各1箇所） で仮締めし、 養生テープで仮固定する。

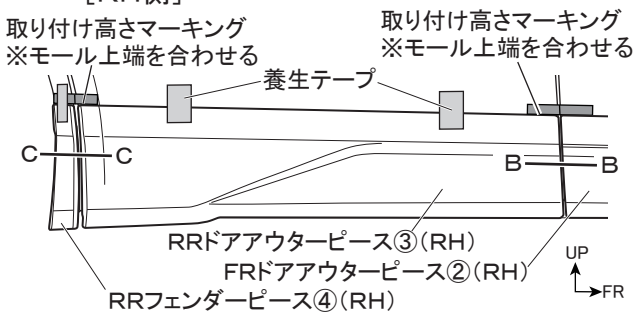
図 26　※LH図示　左右共通作業

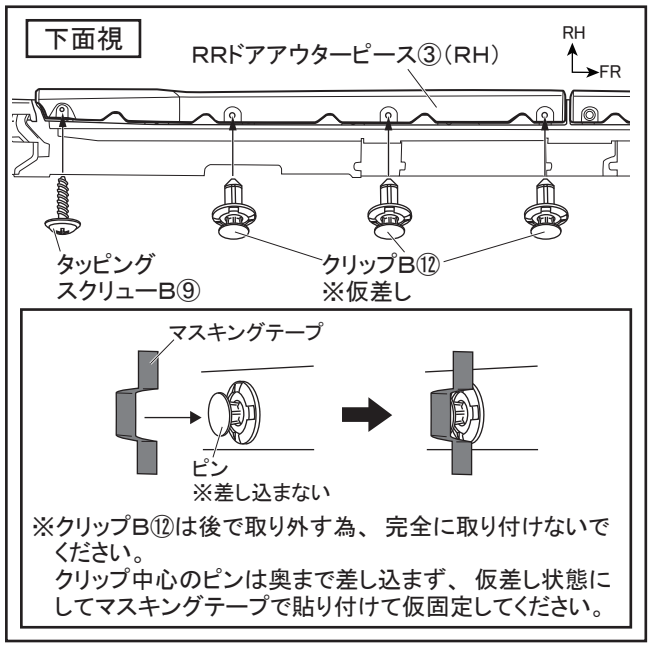


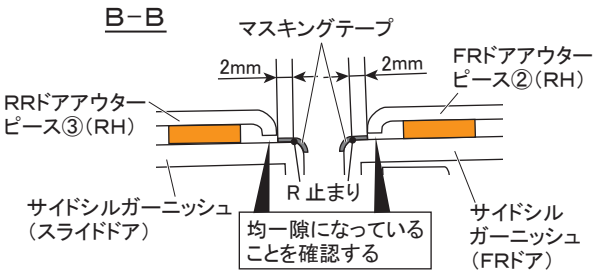


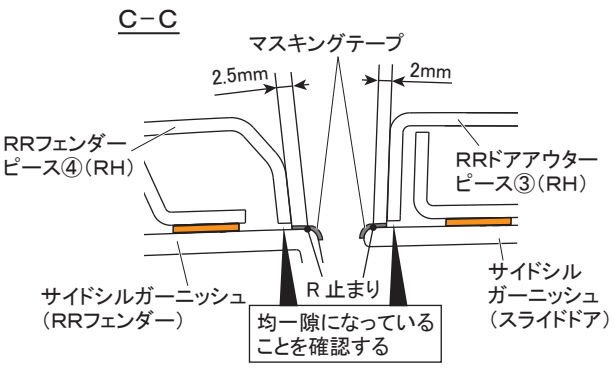
35. 図 27 のようにRRドアアウターピース③（RH） のモール上端を取り付け高さマーキング、 側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせて車両にあて、 下面をクリップB⑫（3箇所、※仮差し）、 タッピングスクリューB⑨（1箇所） で仮締めし、 養生テープで仮固定する。

図 27 ［RH側］



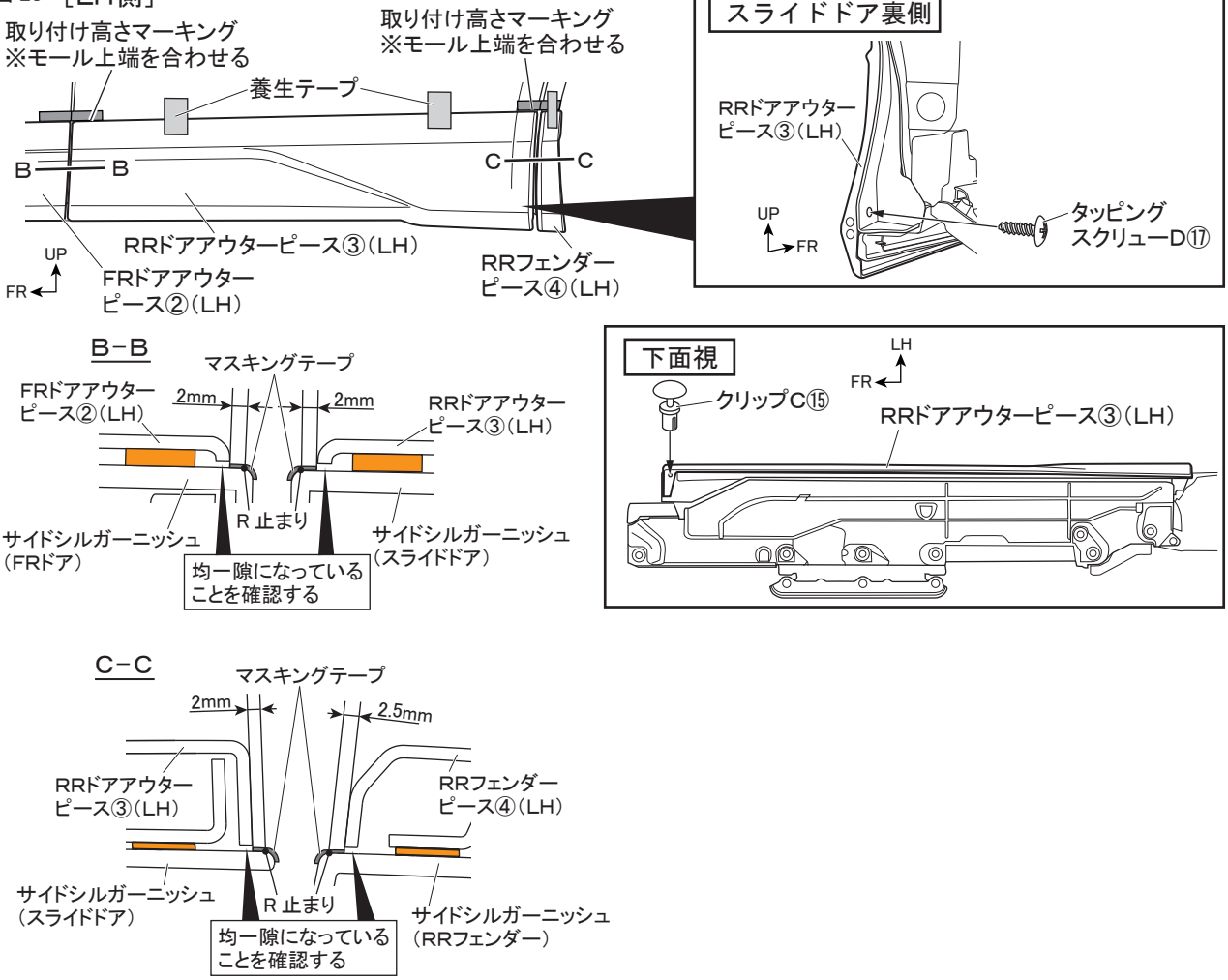






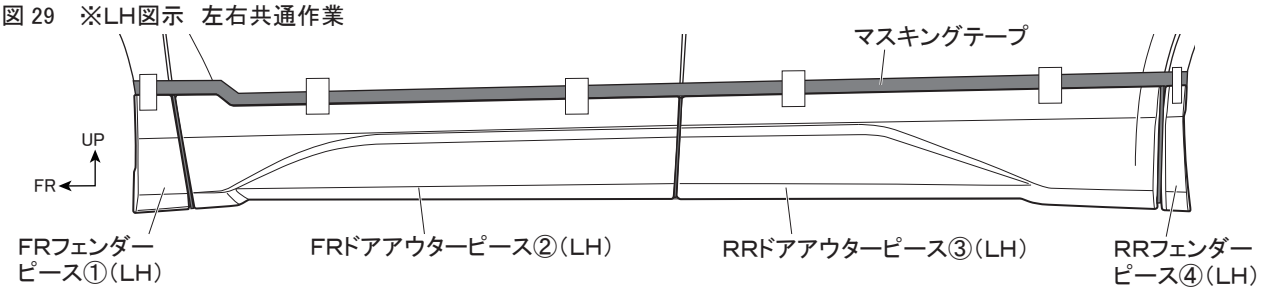
36. 図 28 のようにRRドアアウターピース③（LH）のモール上端を取り付け高さマーキング、側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせて車両にあて、側面をスライドドア裏側からタッピングスクリューD⑰（1箇所）で仮締めし、下面にクリップC⑮（1箇所）を取り付けて養生テープで仮固定する。

図 28　［LH側］



37. 図 29 のようにFRフェンダーピース①、FRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③、RRフェンダーピース④のモール上端に合わせて車両側面にマスキングテープを貼り付ける。

図 29　※LH図示　左右共通作業

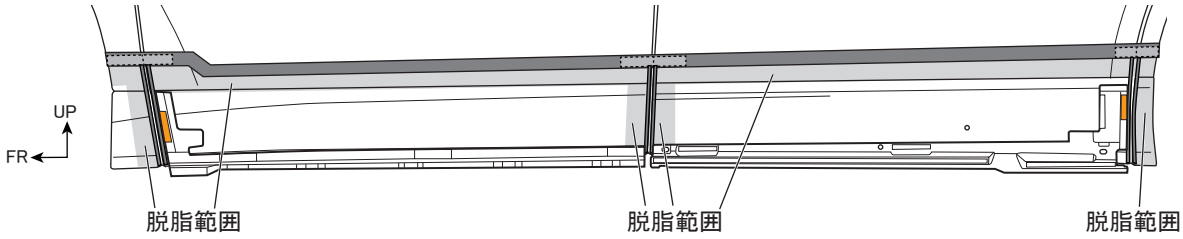


⚠注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

38. FRフェンダーピース①、FRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③、RRフェンダーピース④を取り外す。

39. 図 30 のようにFRフェンダーピース①、FRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③、RRフェンダーピース④の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、 イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図 30　※LH図示　左右共通作業

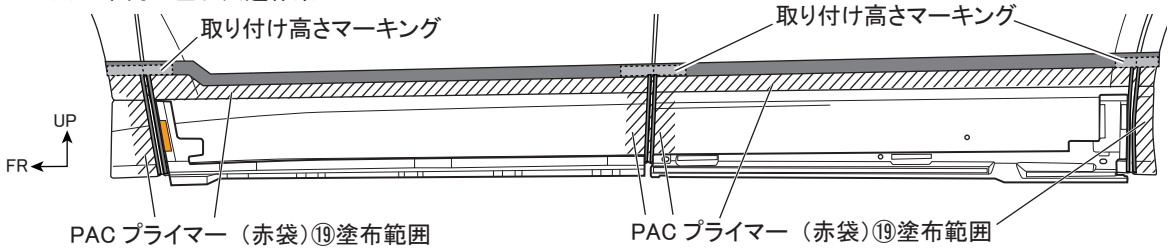


アドバイス：脱脂後は、 十分に乾燥させてください。

⚠注意：脱脂を行う際、 上記以外の溶剤は使用しないでください。 油脂分が残り、 テープが剥がれる原因になります。

40. 図 31 のようにFRフェンダーピース①、FRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③、RRフェンダーピース④の両面テープ貼り付け部（下図斜線部）にPACプライマー（赤袋）⑲を塗布する。

図 31　※LH図示　左右共通作業

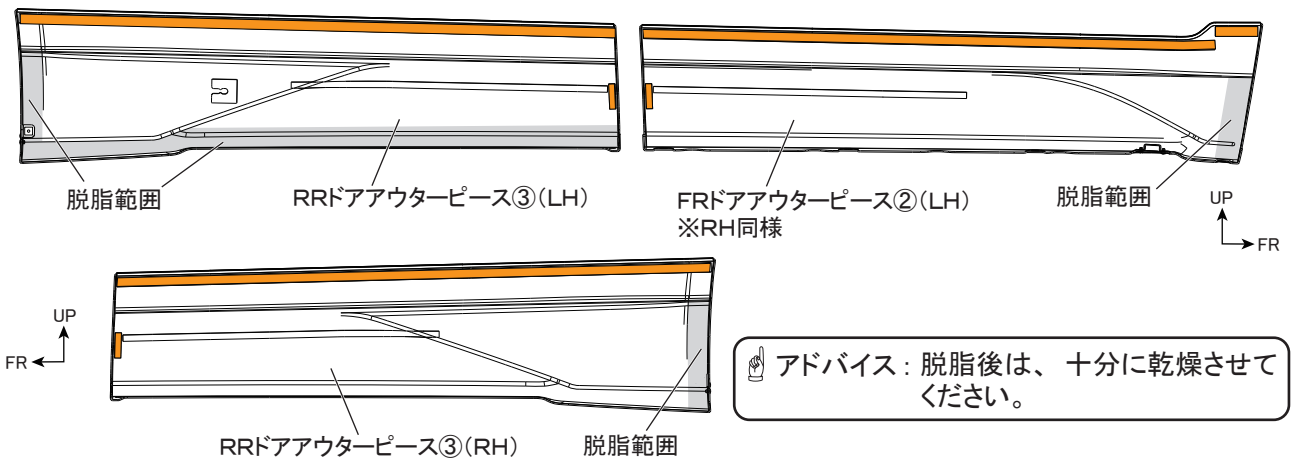


⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、 直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。 付着してしまいますと、 変色する事がありますので注意してください。

41. 17 ページ 37. で貼り付けたマスキングテープのみ剥がす。
※取り付け高さマーキングおよび各サイドシルガーニッシュ間に貼り付けたマスキングテープは剥がさないでください。

42. 図 32 のようにFRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③裏面下図位置の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、 イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図 32　裏面視　※LH図示　FRドアアウターピース②は左右共通作業

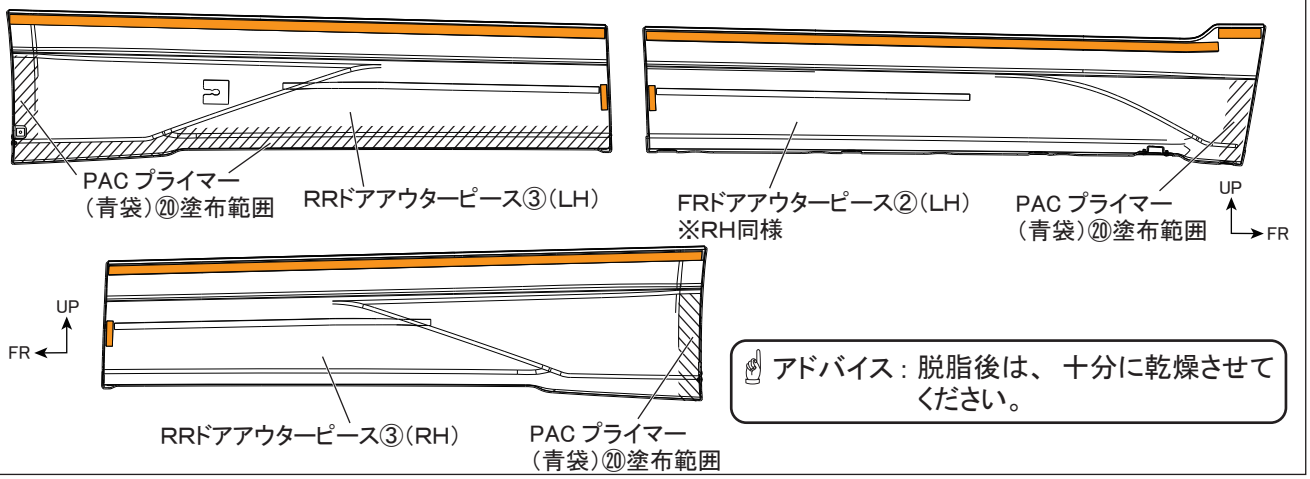


アドバイス：脱脂後は、 十分に乾燥させてください。

⚠注意：脱脂を行う際、 上記以外の溶剤は使用しないでください。 油脂分が残り、 テープが剥がれる原因になります。

43. 図 33 のようにFRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③裏面下図位置の両面テープ貼り付け部（下図斜線部）にPACプライマー（青袋）⑳を塗布する。

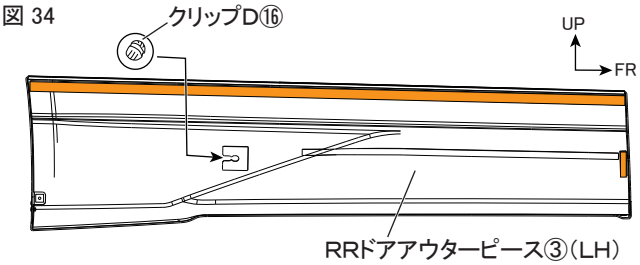
図 33 裏面視　※LH図示　FRドアアウターピース②は左右共通作業



アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

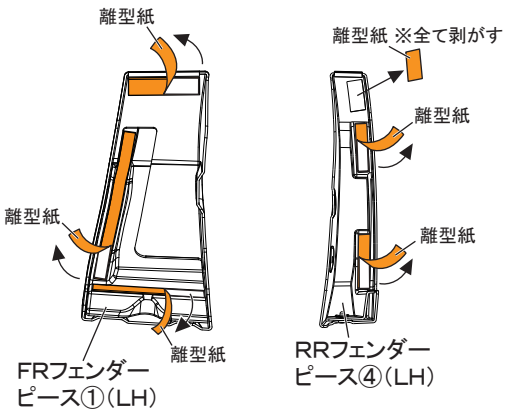
図 34

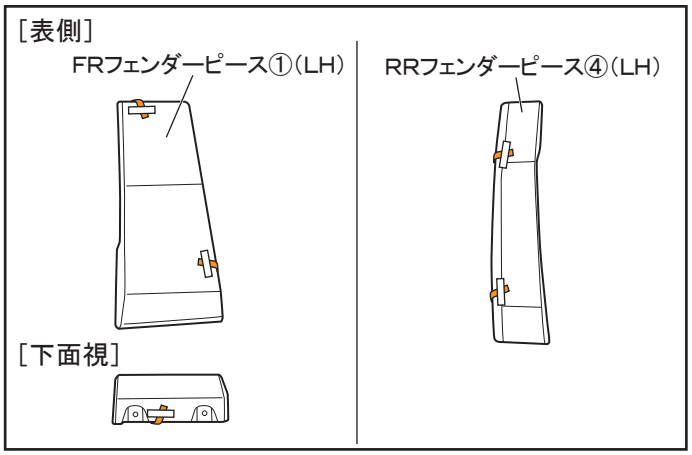


44. 図 34 のようにRRドアアウターピース③（LH）裏面にクリップD⑯を取り付ける。（1箇所）

45. 図 35 のようにFRフェンダーピース①、RRフェンダーピース④裏側の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。
（FRフェンダーピース①：左右各3箇所、RRフェンダーピース④：左右各2箇所、全剥がし左右各1箇所）

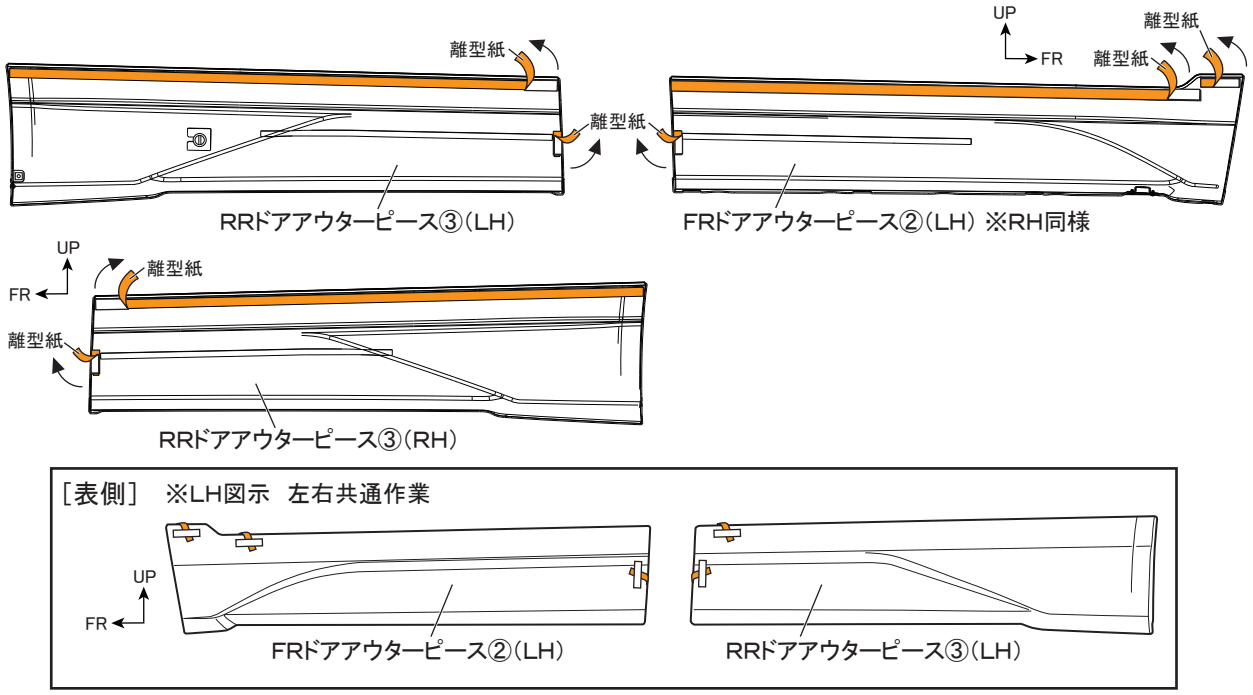
図 35 裏面視　※LH図示　左右共通作業





46. 図 36 のようにFRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③裏側の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。
（FRドアアウターピース②: 左右各3箇所、RRドアアウターピース③: 左右各2箇所）

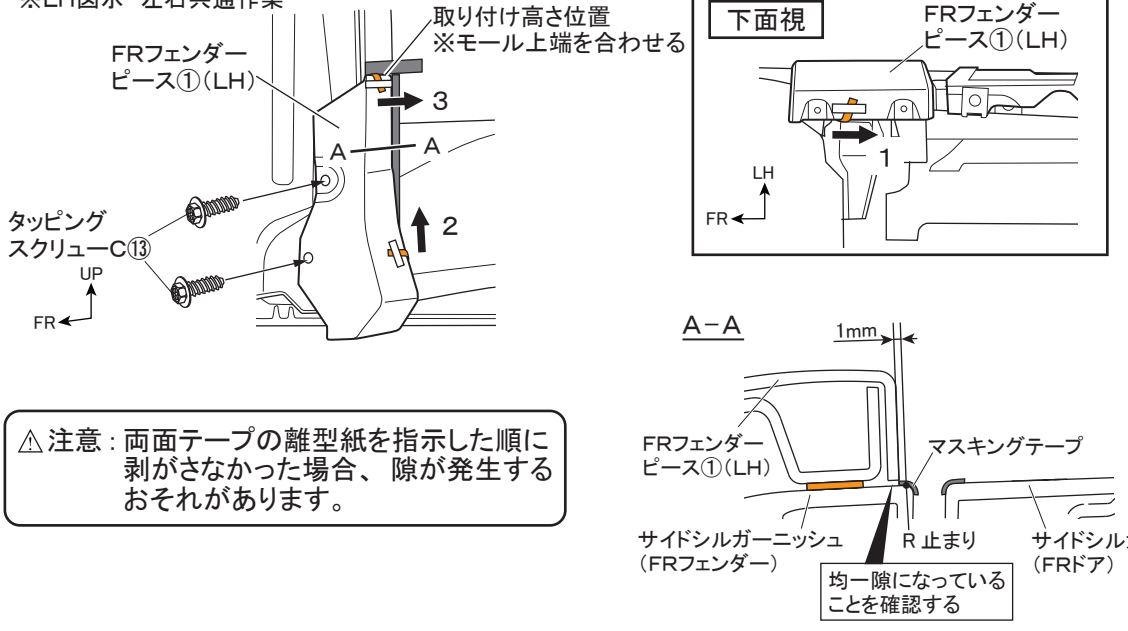
図 36 裏面視　※LH図示　FRドアアウターピース②は左右共通作業



□サイドスカート取付要領

1. 図 37 のようにFRフェンダーピース①のモール上端を取り付け高さマーキング、側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせ、下面を車両サイドシルガーニッシュに突き当てながら位置決めし、ホイールハウス部をタッピングスクリューC⑬で仮締めする。（左右各2箇所）
2. 図 37 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各3箇所）

図 37　※LH図示　左右共通作業

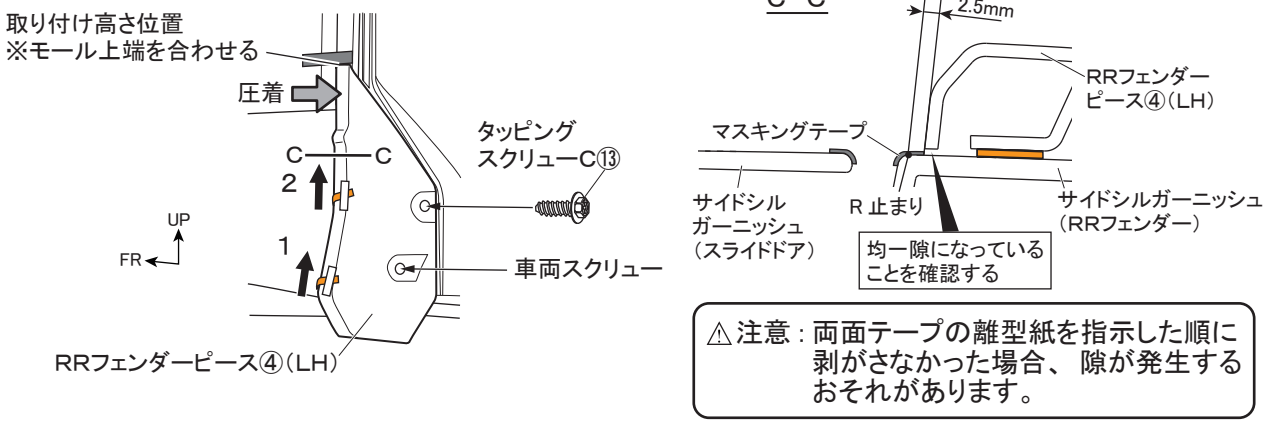


⚠注意 : 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

3. 図 38 のようにRRフェンダーピース④のモール上端を取り付け高さマーキング、 側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせ、 下面を車両サイドシルガーニッシュに突き当てながら位置決めし、 ホイールハウス部上側をタッピングスクリューC⑬（左右各1箇所）、 下側を車両スクリュー（左右各1箇所）で仮締めする。

4. 図 38 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各2箇所）

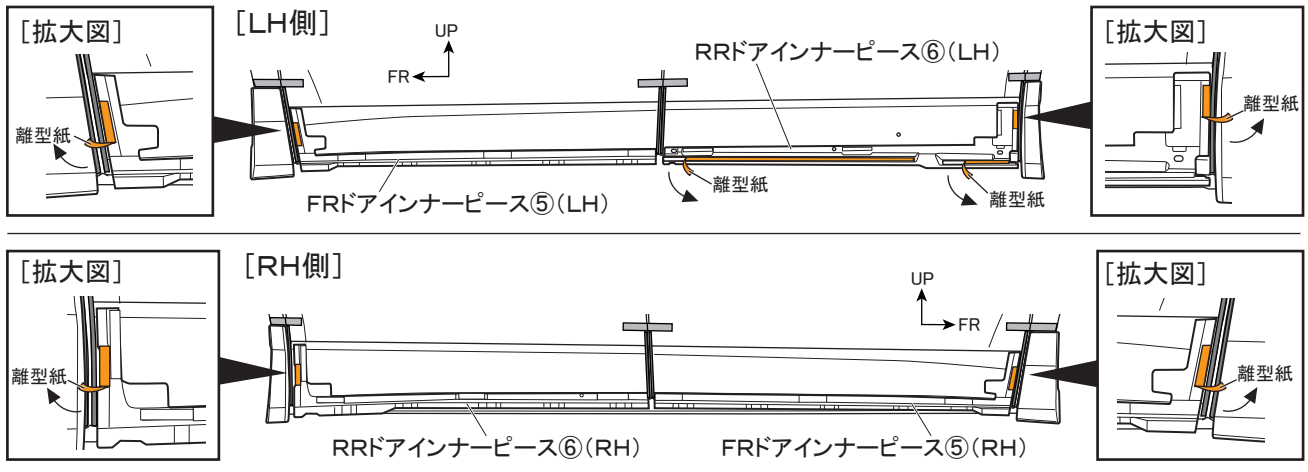
図 38　※LH図示　左右共通作業



⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生するおそれがあります。

5. 図 39 のようにFRドアインナーピース⑤、RRドアインナーピース⑥裏側の両面テープの離型紙を矢印の方向にめくる。
（FRドアインナーピース⑤: 左右各1箇所）
（RRドアインナーピース⑥（RH）：1箇所、RRドアインナーピース⑥（LH）：3箇所）

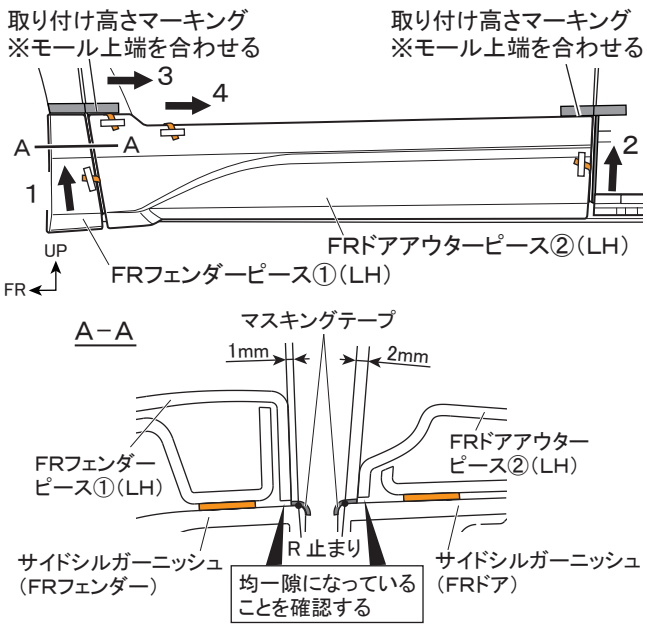
図 39

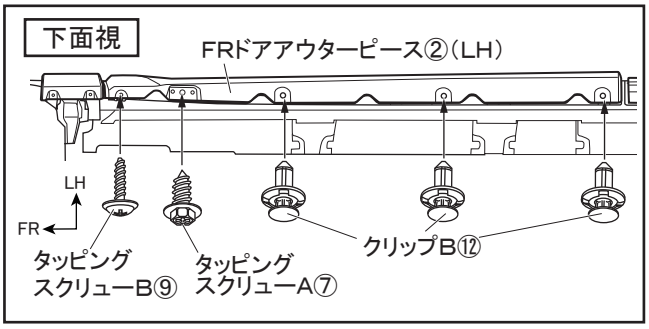


6. 図 40 のようにFRドアアウターピース②のモール上端を取り付け高さマーキング、側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせて車両にあて、下面をクリップB⑫（左右各3箇所）で固定し、タッピングスクリューA⑦（左右各1箇所）、タッピングスクリューB⑨（左右各1箇所）で仮締めする。

7. 図 40 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各4箇所）

図 40　※LH図示　左右共通作業



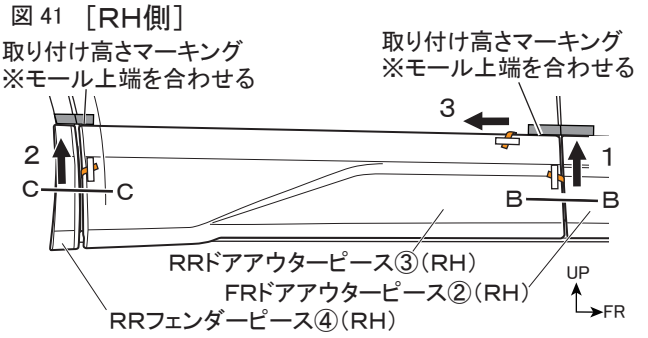


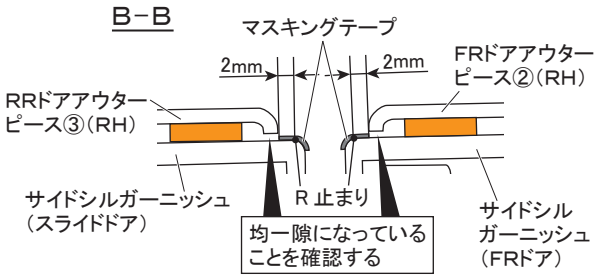
⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

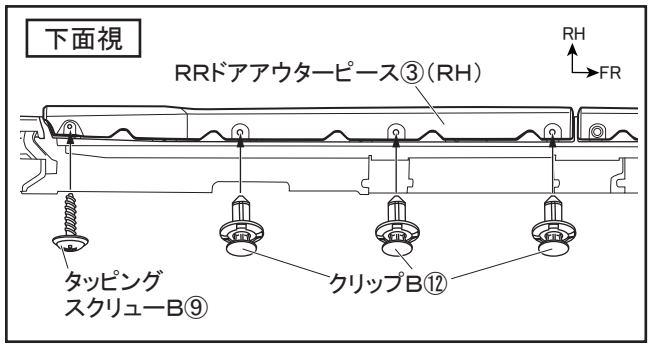
8. 図 41 のようにRRドアアウターピース③（RH）のモール上端を取り付け高さマーキング、側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせて車両にあて、下面をクリップB⑫（3箇所）で固定し、タッピングスクリューB⑨（1箇所）で仮締めする。

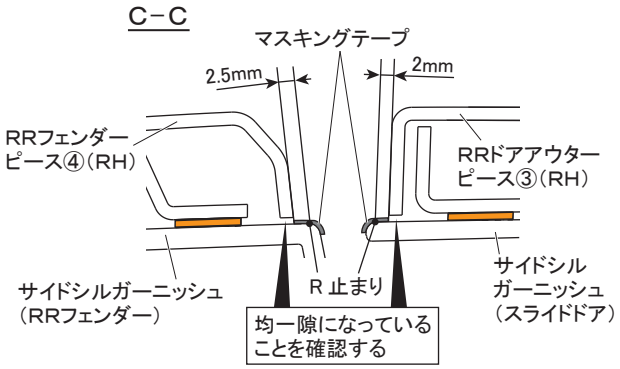
9. 図 41 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（3箇所）

図 41　［RH側］







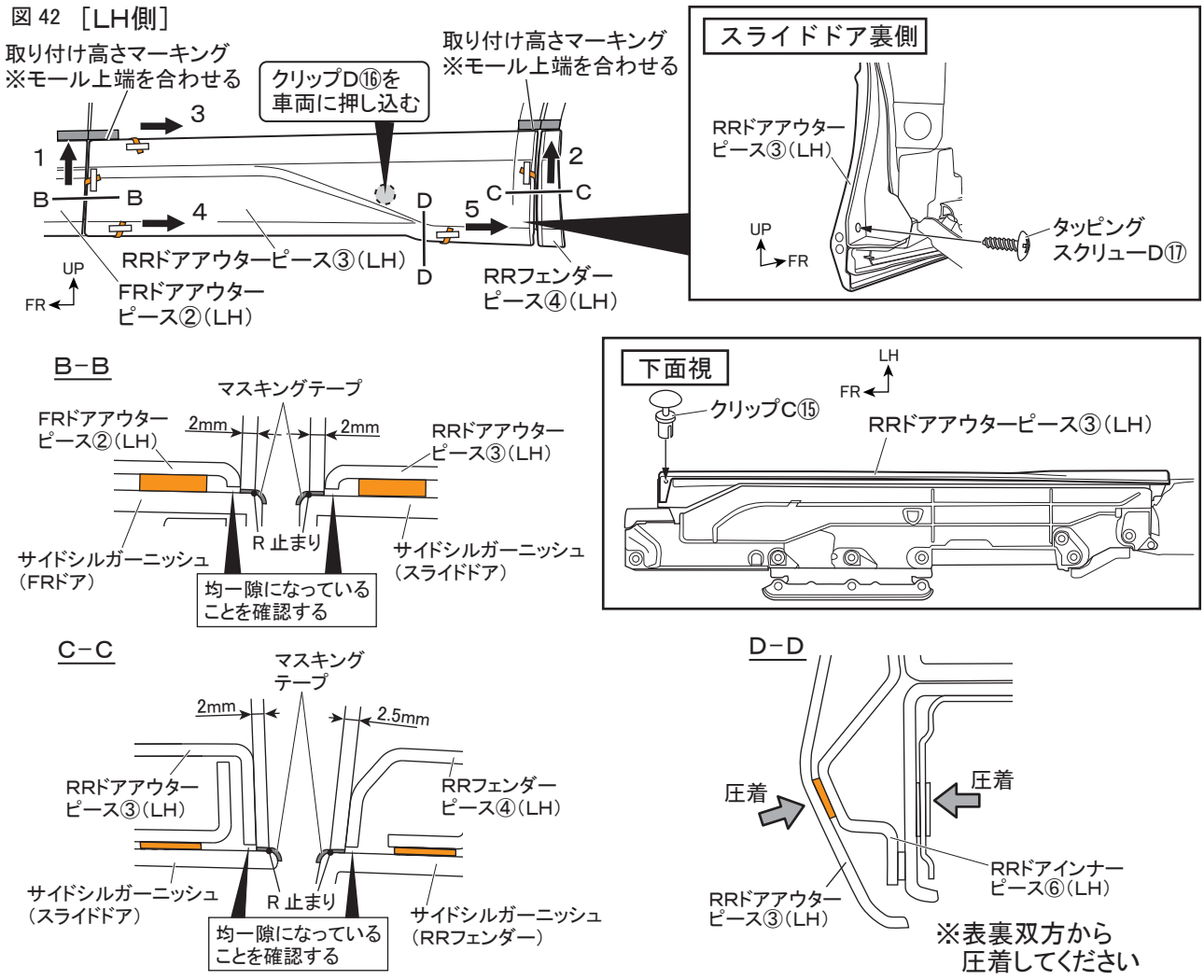


⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

10. 図 42 のようにRRドアアウターピース③（LH）のモール上端を取り付け高さマーキング、側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせて車両にあて、側面のクリップD⑯を車両に押し込み、スライドドア裏側からタッピングスクリューD⑰（1箇所）で仮締めし、下面をクリップC⑮（1箇所）で固定する。

11. 図 42 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（5箇所）

図 42 ［LH側］



⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

アドバイス　両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

⚠ 警告　両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

12. タッピングスクリューA⑦（左右各1箇所）、タッピングスクリューB⑨（3箇所）、タッピングスクリューC⑬（左右各3箇所）、タッピングスクリューD⑰（LH側1箇所）、車両スクリュー（左右各1箇所）で本締めし、取り付け高さマーキングおよび全てのマスキングテープを剥がす。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS344-28014-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

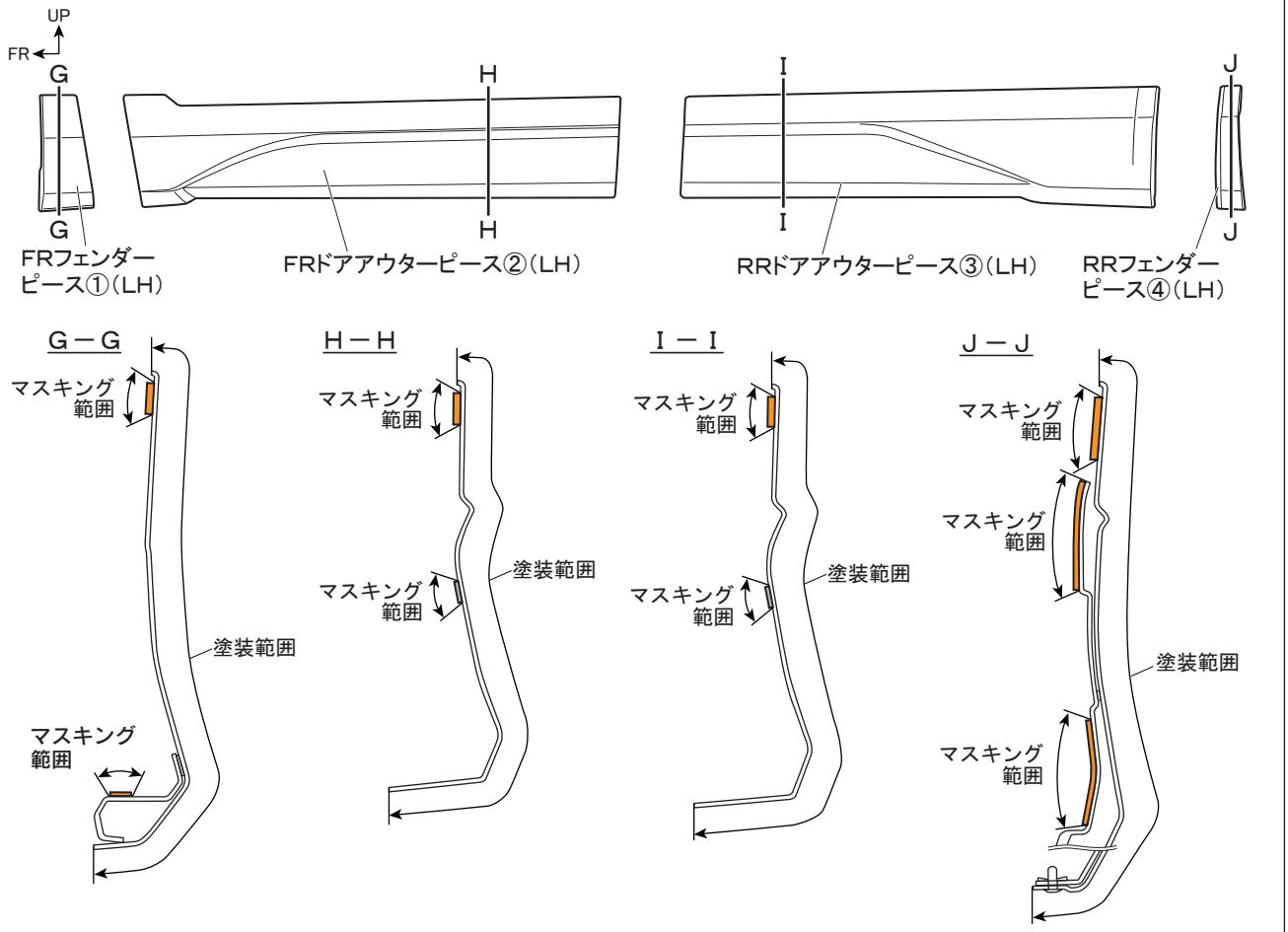
⚠注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ サイドスカートの塗装

1. 図 43 のようにFRフェンダーピース①、FRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③、RRドアアウターピース④を車両色で塗装する。

図 43 ※LH図示 左右共通作業



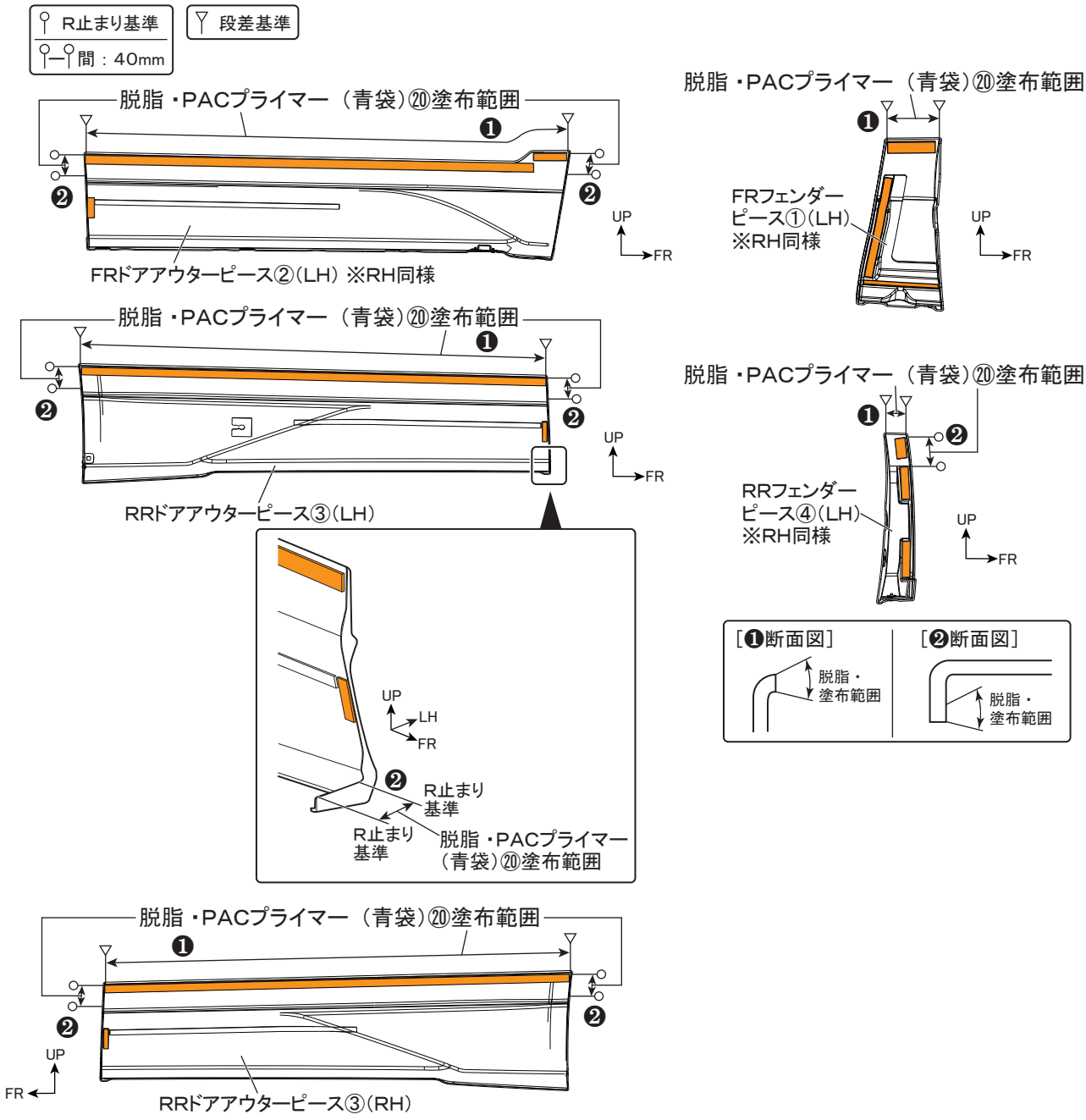
⚠警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。

⚠注意：乾燥温度を 70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

□モールの貼り付け

1. 図 44 のようにモール（イ型）㉒、モール（L型）㉓貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、モール貼り付け部のみPACプライマー（青袋）⑳を塗布する。

図 44　裏面視　※LH図示　FRフェンダーピース①、FRドアアウターピース②、RRフェンダーピース④は左右共通作業



⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

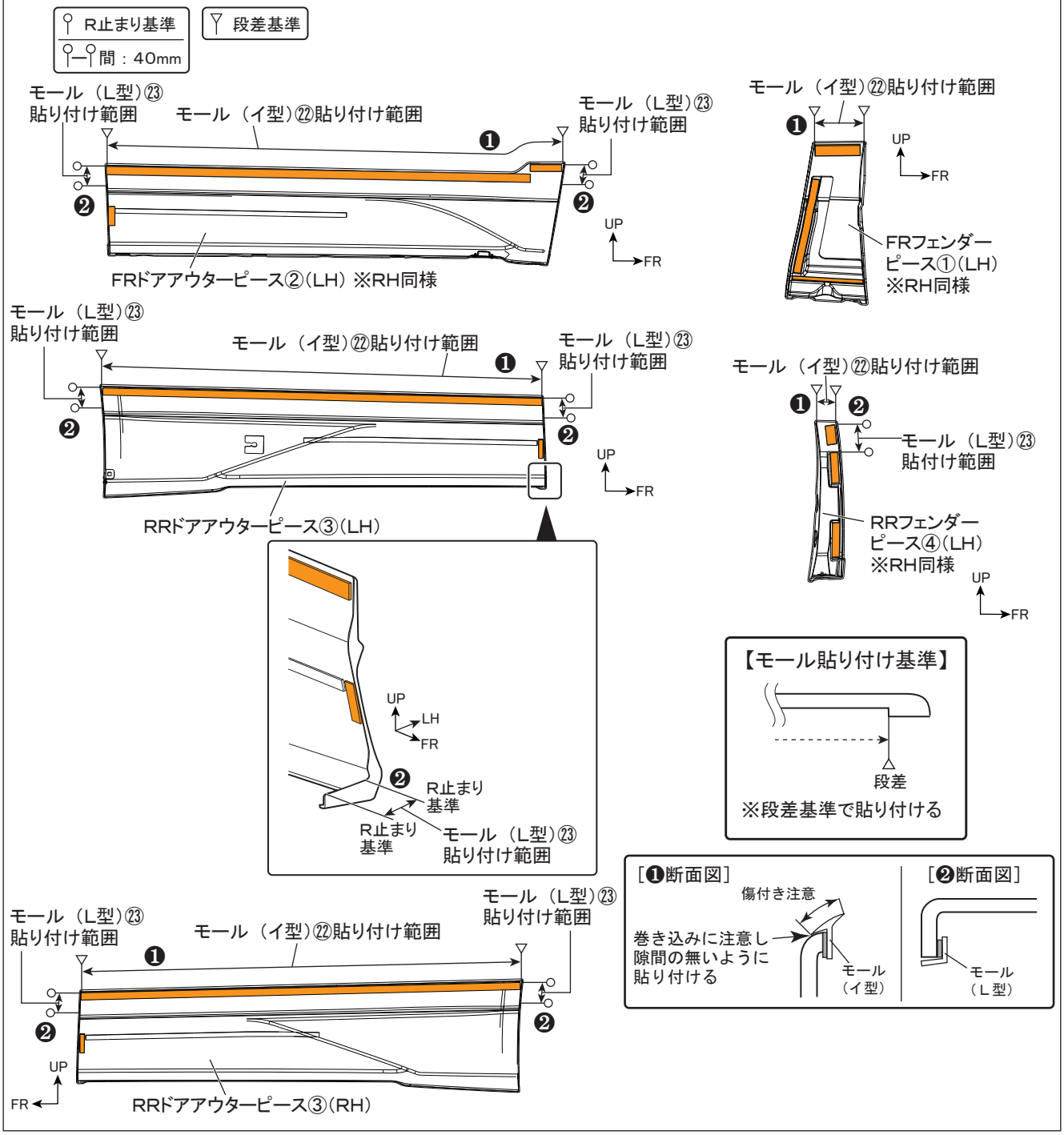
⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

⚠注意：PAC プライマー（青袋）はサイドスカート取り付け時に再使用します。
揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

2. 図 45 のようにモール（イ型）㉒、モール（L型）㉓の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼り付け圧着する。
モール（イ型）㉒、モール（L型）㉓は長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

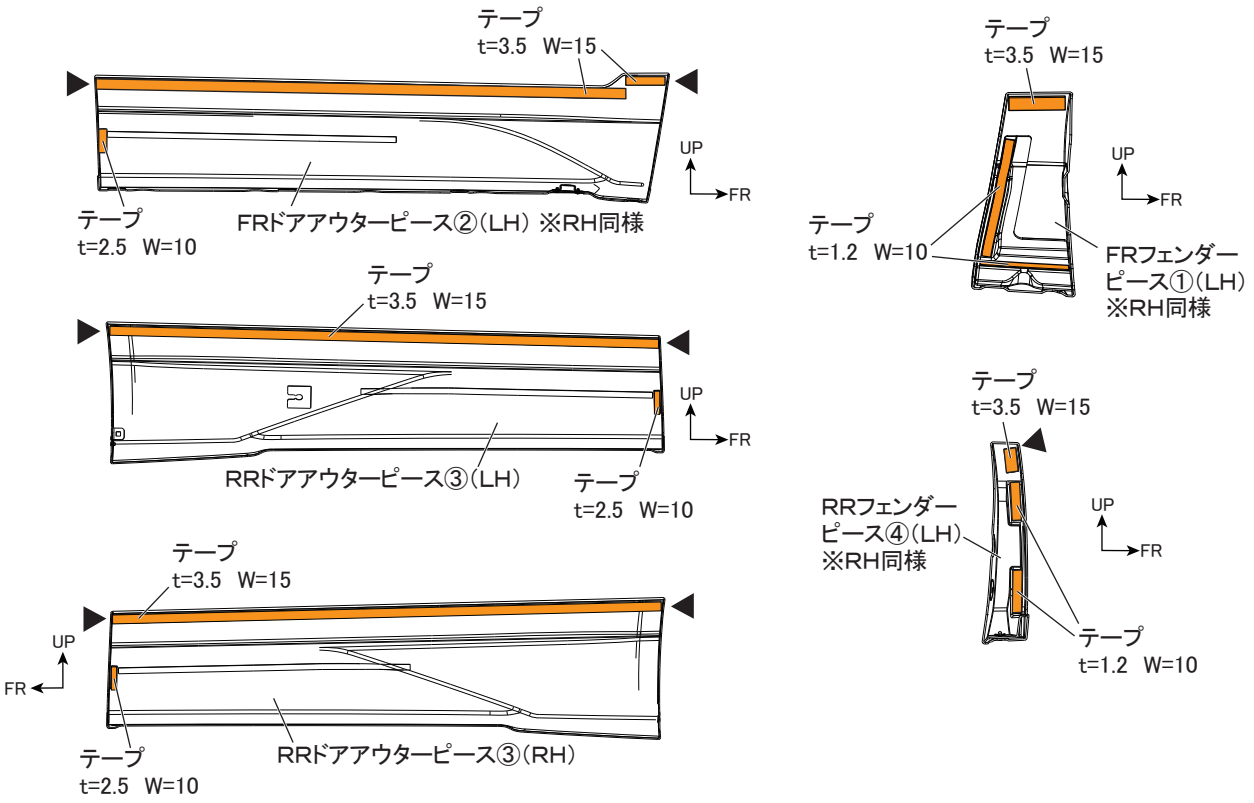
図 45　裏面視　※LH図示　FRフェンダーピース①、FRドアアウターピース②、RRフェンダーピース④は左右共通作業

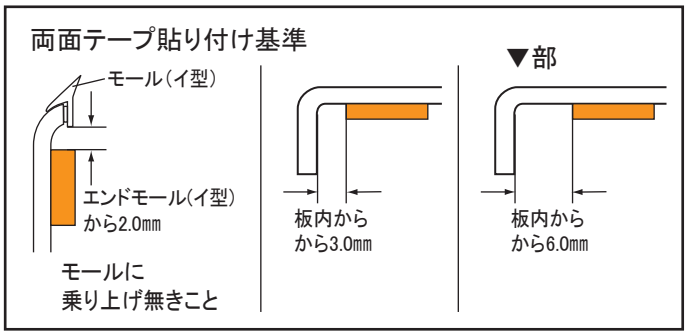


■ 補修キット両面テープ貼り付け

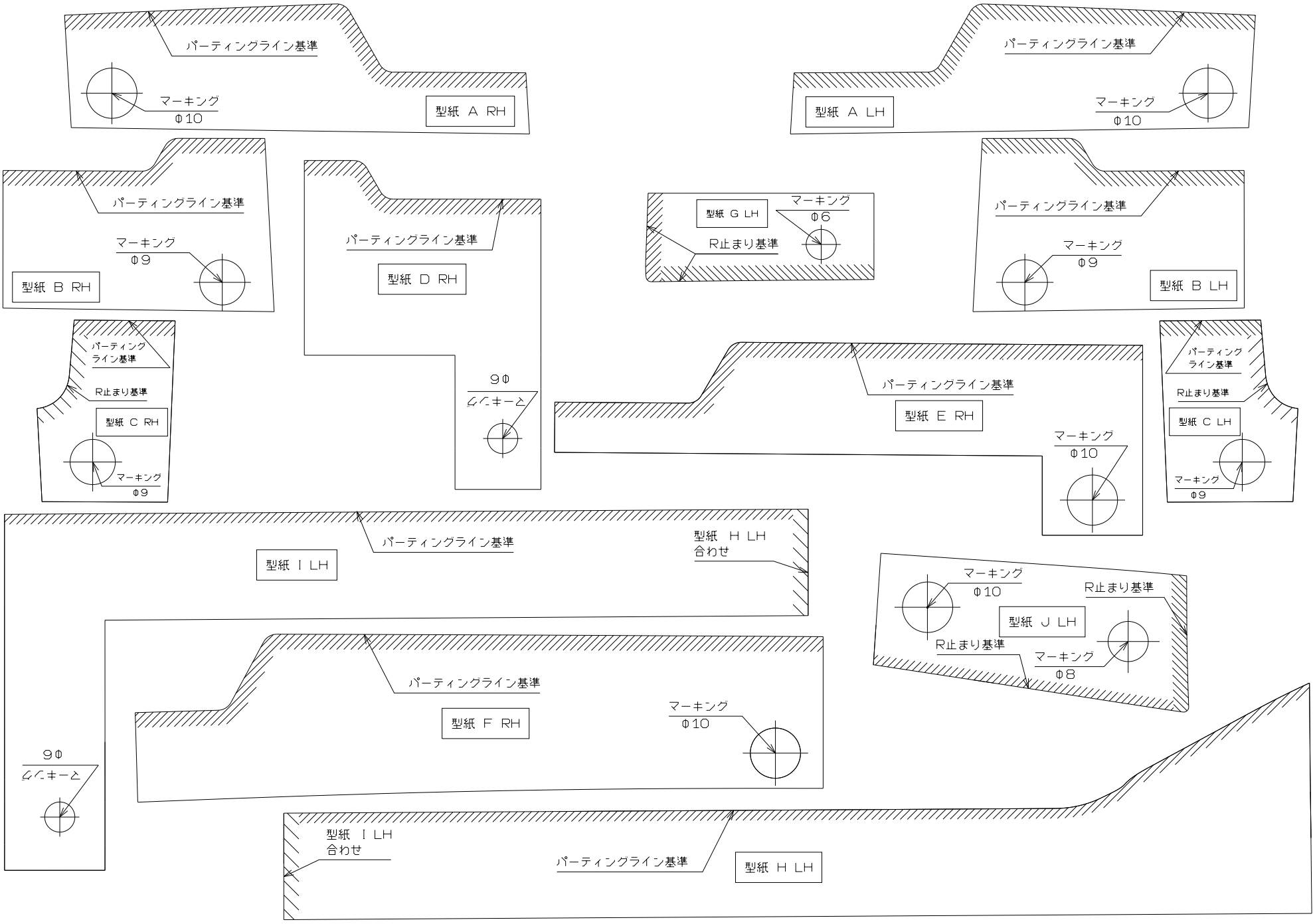
1. 補修キットを使用してサイドスカートの再取り付けを行なう際は、 下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。
   ※両面テープを貼り付ける際は、 貼り付け部を脱脂し、 プライマー（PAC プライマー K-500 相当）を塗布する。

裏面視　※LH図示　FRフェンダーピース①、FRドアアウターピース②、RRフェンダーピース④は左右共通作業





株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
TRD 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
https://www.trdparts.jp/



73-MS344-28013-A00

脱脂作業要領書

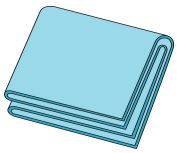
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約３分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約６分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約４分）
合計　約 13 分

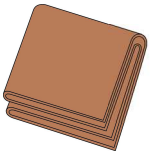
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等

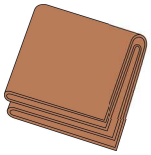
水拭き用バケツ


合成セーム皮

脱脂剤用
スプレーボトル

ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス

イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

１．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
２．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
３．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
４．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
５．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

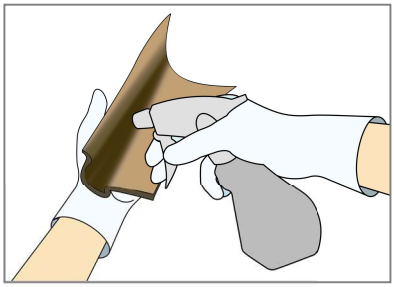
水拭き用バケツ

合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。

WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

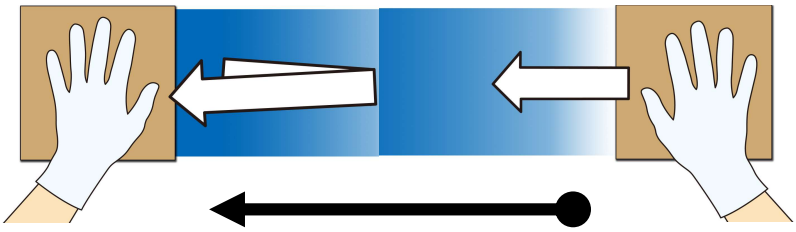


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

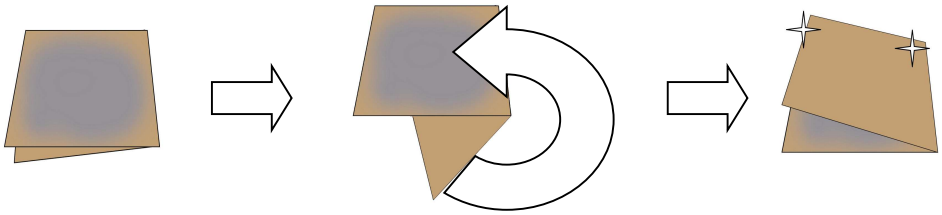
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。